

注3

大学番号：国078

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

**意見伺い**

大分大学 理工学部

注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 大分大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部企画課企画係
職名・氏名	企画係長・岡嶋 <sup>オカシマ</sup> あゆみ
電話番号	097-554-7787
（夜間）	097-554-7787
F A X	097-554-7413
e-mail	kikaku@oita-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 理工学部

<創生工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

<共創理工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	44
2. 授業科目の概要	48
3. 施設・設備の整備状況、経費	62
4. 既設大学等の状況	63
5. 教員組織の状況	65
6. 留意事項等に対する履行状況等	84
7. その他全般的事項	85



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 大分大学

## (2) 大学名

大分大学

## (3) 大学の位置

〒870-1192  
大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(キタノ セイゴウ) 北野正剛 (平成23年10月)		
学部長	(トヨダ マサヒロ) 豊田昌宏 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 創生工学科 学士(工学)	工学関係	4年	235人	3年次 7人	954人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「意見伺い」又は「事前伺い」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	235 ( - ) [ - ]		( ) [ ]		( ) [ ]		( ) [ ]		( ) [ ]		1.01倍	
志願者数	1044 ( - ) [ 16 ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	760 ( - ) [ 13 ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	269 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	238 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.01											

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	238 [ 7 ] ( - )	— [ - ] ( - )							
2年次	/								
3年次	/								
4年次	/								
計	238 [ 7 ] ( - )								

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	238 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		%
合 計	238 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<理工学部 創生工学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
教養 教育 科目	導入・ 転換	生涯学習論入門			2							兼 1	主題区分の見直しに伴い、「導入・ 転換」から「福祉・地域」へ主題異 動 (29)		
		スポーツと生活			2			1	1						
		大学開放論 -社会人の学びと大学生の学び-			2									兼 1	
		大分の人と学問			2									兼 1	
		学習ボランティア入門			2									兼 1	
		カタリパでキャリアを拓く			2									兼 1	
		職業とキャリア開発			2									兼 1	
		中小企業の魅力の発見と発信～イ ンターシップセミナー～		1・2 前			2								兼 1
		分大キャンパスライフ入門		1 前			2								兼 1
		木材加工の技術					2								兼 2
		コンピュータ科学入門					2								兼 8
															教育内容の充実のため、配当学期を 追加 (29)
		情報処理入門					2								兼 1
															隔年開講のため (29)
															2 担当教員見直しのため (29)
		初等教育のためのICT活用					2								兼 3
		人類の知的遺産と向き合う					2								兼 1
															2 教育内容の充実のため、担当教員を 追加 (29)
		ものづくり入門					2								兼 1
															隔年開講のため (29)
		「読むこと」と自己開拓					2								兼 1
															2 教育内容の充実のため、担当教員を 追加 (29)
		男女共同参画入門					2								兼 1
プロジェクト型学習入門Ⅰ～イン ターンシップセミナーB～					2							兼 2			
プロジェクト型学習入門Ⅱ～イン ターンシップセミナーB～					2							兼 2			
												10 教育内容の充実のため、担当教員を 追加 (29)			
基礎理工学入門		1前	2			1	5			1		兼 9			
コミュニケーション入門Ⅰ					2							兼 1			
												2 教育内容の充実のため、科目を追加 (29)			
大学と社会					2							兼 1			
												2 教育内容の充実のため、科目を追加 (29)			
文化・ 国際	大分美術史概論				2								兼 1		
													2 教育内容の充実のため、配当学期を 追加 (29)		
		器楽の楽しみ				2								兼 2	
		国文学作品研究		1 前		2								兼 1	
		古典文学講読		1・2 前		2								兼 1	
		水彩画の魅力				2								兼 1	
														隔年開講のため (29)	
		手作り絵本の楽しみ				2								兼 1	
		日本文化論				2								兼 1	
														2 教育効果向上のため、配当学期を変 更 (29)	
		西洋思想の源流				2								兼 1	
		バロック音楽の世界				2								兼 2	
														隔年開講のため (29)	
		版画の楽しみ				2								兼 1	
		文化人類学				2								兼 1	
														2 教育効果向上のため、配当学期を変 更 (29)	
南アジアの生活文化を知ろう				2								兼 2			
イギリス近代史				2								兼 1			
前近代日本の国家と社会				2								兼 1			



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	文化・国際	教養中国語Ⅰ	1・2・3・4 前		2							兼 4	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
		教養中国語Ⅱ	1・2・3・4 後		2							兼 4	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
		アカデミック・イングリッシュⅠ (リーディング&ライティング)	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		アカデミック・イングリッシュⅡ (スピーキング)	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		留学英語Ⅰ (リスニング)	1・2・3・4 後		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		留学英語Ⅱ (リーディング)	1・2・3・4 後		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		狂言で大分を学ぶ	1・2・3・4 前		2								兼 2	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		国際理解教育：サステナビリティ	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ビジネスジャパニーズ演習3	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ビジネスジャパニーズ演習4	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ミニトビタテ海外研修	1・2・3・4 後		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修 (英国・セントラルランカシャー大学I)	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修 (英国・セントラルランカシャー大学II)	1・2・3・4 前		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修 (フィリピン・アテネオマニラ大学)	1・2・3・4 後		2								兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		社会・経済	現代国際政治と日本	未開講 2-3-4 後		2								兼 1
現代社会の諸問題	未開講 1-2-3-4 後			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
Education of the World in Comparative Perspective	未開講 1-2-3-4 後			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
日本国憲法	1・2・3・4 後 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
子どものこころの育ち	1-2-3-4 後 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
日本のマネジメント	1・2・3・4 前			2								兼 1		
会社組織のしくみ	1・2・3 前 1-2-3-4 後			2								兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)	
会社法入門	1-2-3-4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
企業会計の基礎	1-2-3-4 後			2								兼 1		
企業の価格戦略と消費者の行動	1・2・3・4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
企業ファイナンス入門	1-2-3-4 後			2								兼 1		
金融とわたしたちの生活	1・2・3・4 後 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
グローバル経済入門	1-2-3-4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
経営学の基礎	1-2-3-4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
経済学で物事をみる	1-2-3-4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
経済学を学ぶ	1-2-3-4 前			2								兼 1		
経済統計を読む	1・2・3・4 前			2								兼 1		
経済と倫理	1・2・3・4 後 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
資本市場論	1-2-3-4 前			2								兼 1		
消費者と企業	1・2 後			2								兼 1		
食と農の地理学	1・2・3・4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
日本経済入門	1-2-3-4 前 未開講			2								兼 1	隔年開講のため(29)	
人間・労働と技術の現代史	1-2-3-4 前			2								兼 1		
知的財産入門	1・2・3・4 後 未開講			2								兼 1	科目内容の見直しに伴う単位数の変更(29)	
経済発展と貧困削減	1-2-3-4 前			2								兼 1	隔年開講のため(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	社会・経済	社会調査の基礎	未開講		2								兼 1 隔年開講のため(29)
		知的財産論	2前		2								兼 1
		日常生活の法律	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		社会科学方法論入門	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		会計と社会	2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		革新的企業経営	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		企業経営と会計	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		道路施策概論	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
	自然・科学	化学史	1・2・3・4後		2								兼 1
		海流とその研究	1・2・3・4後		2								兼 1
		環境と生物	未開講										隔年開講のため(29)
		幾何学	1・2・3・4後		2								兼 1
		ゲーム理論と社会	未開講										隔年開講のため(29)
		現代天文学と生命	未開講		2								兼 1 隔年開講のため(29)
		栽培学習論	未開講		2								兼 2 隔年開講のため(29)
		数学と文化	1・2・3・4前		2								兼 1
		数学入門	未開講										隔年開講のため(29)
		生命観の変遷	1・2・3・4前		2								兼 1
		地生態学	1・2・3・4後		2								兼 1
		微分法と数学	1・2・3・4前		2								兼 1
		ファジィの数理	1・2・3・4前		2								兼 1
		物理学への招待	1・2・3・4後		2								兼 3
		身近な化学	1・2・3・4後		2								兼 1
		身近な物理学	未開講										教育効果向上のため、配当学期を変更(29)
		エネルギー科学	1・2・3・4前		2			1	2				兼 1
		エレクトロニクスの世界Ⅰ	1・2・3・4前		2			3					
		エレクトロニクスの世界Ⅱ	1・2・3・4後		2				1				兼 1
機械技術概論		1・2・3・4前		2				1				兼 1	
機械と文明		1・2・3・4後		2								兼 1	
機械の世界		1・2・3・4後		2								兼 1	
くらしの化学		1・2・3・4後		2								兼 2	
タルマと社会の関わり		未開講		2								兼 1 教養教育課程の見直しに伴う科目廃止(29)	
建築構造工学		1・2・3・4前		2			1	2					
食品材料概説		未開講										隔年開講のため(29)	
植物細胞工学		未開講										隔年開講のため(29)	
情報科学の世界	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容充実のため、配当年次を追加(29)		
植物細胞工学	2後		2								兼 1		
情報科学の世界	1・2・3・4後		2								兼 8		
初等教育のためのものづくり	未開講		2								兼 3 主題区分の見直しに伴い、「自然・科学」から「文化・国際」へ主題異動(29)		
数理の世界	未開講										隔年開講のため(29)		
電気の世界Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼 1		
電気の世界Ⅱ	1・2・3・4後		2								兼 1		
情報セキュリティ基礎	1前後		2			2	1				兼 4 教育内容充実のため、兼任教員を追加(29)		
イノベーション科学技術論	2前		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	自然・科学	環境の化学 環境の化学入門	1・2・3・4前	2								兼 2 主題区分の見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動及び名称の見直し(29)
		自然災害と防災の科学	1・2・3・4前	2			1					兼 4 主題区分の見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動(29)
		進化と多様性の生物学	1・2・3・4前	2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		建築入門	1・2・3・4後	2			4	4		1		兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 菊池 健児(教授), 大鶴 徹(教授), 真鍋正規(教授), 鈴木義弘(教授), 大谷 俊浩(准教授), 小林 祐司(准教授), 富来 礼次(准教授), 田中 圭(准教授), 姫野 由香(助教) 平成29年6月 変更書提出予定
福祉・地域		子育て支援の地理学	1・2・3・4前	2								兼 1
		地域における仕事と社会	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		家族と法	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		地域の住まい論	1・2・3・4前	2								兼 1 主題区分見直しのため、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動(29)
		自然災害と防災の科学	1・2・3・4前	2				1				兼 4
		建築環境計画	1・2・3・4前	2			3	2	1			兼 1
		カラダの見方・考え方	1・2・3・4後	2								兼 1
		地球環境とエネルギー入門	1・2・3・4前	2			1	1				兼 1
		社会福祉と自立思想	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2								兼 1 教育効果向上のため、配当学期を変更(29)
		障がい者福祉入門	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		アルコール関連問題入門	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		市民参加と現代社会	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2								兼 1 教育効果向上のため、配当学期を変更(29)
		福祉専門職の働き方	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		福祉テクノロジー入門	1・2・3・4前 未開講	2					1			兼 1 隔年開講のため(29)
		東南アジアの社会と教育	1・2・3・4前 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		保育学基礎論	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		学びと生活の探求	1・2前	2								兼 1
		地域社会へのまなざし	1・2・3・4後	2								兼 1
		大分の地域資源	1・2・3・4前	2								兼 1
		交通からみた地域社会	1・2・3・4後	2								兼 1
		大分の水I	1・2・3・4前	2								兼 1
		大分の水II	1・2・3・4後	2								兼 1
		環境の化学入門	1・2・3・4前	2								兼 2 主題区分の見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動及び名称の見直し(29)
		自然体験活動の理論と実践	1・2・3・4前 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		地域と情報	1・2・3・4後	2								兼 1
		日本の環境政策	1・2・3・4後 未開講	2								兼 1 隔年開講のため(29)
		現代社会と心理学	1・2・3・4後 未開講	2								兼 6 隔年開講のため(29)
		人体の構造と生理	1・2・3・4後 未開講	2								兼 3 隔年開講のため(29)
		高齢者の身体機能と疾病の特徴	1・2・3・4前	2								兼 5
		学習意欲の心理学	1・2・3・4後	2								兼 1
		インストラクショナルデザイン入門	1・2・3・4後	2								兼 1
		創造的思考法	1・2・3・4前	2								兼 1
	共生社会論	1・2・3・4前	2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	福祉・地域	生涯スポーツⅠ	2・3・4前		1				1				
		生涯スポーツⅡ	2・3・4前		1		1						
		生涯スポーツⅣ	2・3・4後		1				1				
		生涯スポーツⅤ	2・3・4後		1			1					
		スポーツ文化科学(春・夏の野外活動)	1前		2			1					
		スポーツ文化科学(バレーボールの科学)	1前		2				1				
		スポーツ文化科学(キャンプの理論と実践)	1前		2			1	1				
		スポーツ文化科学(スキー・スノーボードの理論と実践)	1後		2			1	1				
		スポーツ文化科学(秋・冬の野外活動)	1後		2			1					
		スポーツ文化科学(健康トレーニング)	1後		2				1				
		スポーツ文化科学(運動学習の科学)	1後		2							兼 1	
		大分の人と学問	1・2・3・4後		2								兼 3 2 主題区分見直しに伴い、「導入・転換」から「福祉・地域」へ主題異動及び教育内容の充実のため、担当教員追加(29)
		現代における青年の心理	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家族支援	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		社会福祉学・高齢者介護を中心に	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		世界・日本・大分の農業経済論	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		医療社会学	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		口腔から考える保健・医療・福祉	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		運動器疾患と治療・予防	1・2・3・4後		2								兼 2 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
	地域ガバナンスとグローバルガバナンスを考える	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	ユニバーサルデザインと人にやさしい社会	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	スポーツ文化科学(イギリスで生まれたスポーツ)	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	スポーツ文化科学(生涯スポーツの足がかりⅠ)	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	スポーツ文化科学(現代スポーツの問題点を探る－バレーボールを例にして－)	1・2・3・4前		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	スポーツ文化科学(現代スポーツの問題点を探る－卓球を例にして－)	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	スポーツ文化科学(生涯スポーツの足がかりⅡ)	1・2・3・4後		2								兼 1 教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
	外国語科目	英語Ⅰ	1前後	4					2	1			
英語Ⅱ		2前後	2					2	1				
専門教育科目	理工学基礎教育科目	基礎解析学Ⅰ	1前	2								兼 4	
		基礎代数学Ⅰ	1前	2								兼 4	
		基礎解析学Ⅱ	1後	2								兼 4	
		基礎代数学Ⅱ	1後	2								兼 3	
		基礎解析学Ⅲ	2前		2							兼 3	
		基礎代数学Ⅲ	2前		2							兼 2	
	力学	1前	2									兼 3 4 教育内容の充実のため、担当教員の追加(29)	
	サイエンス基礎	1後	2									兼 12 10 教育内容の充実のため、担当教員の追加(29)	
基礎生物学	1前	2									兼 1 カリキュラム見直しのため配当年次変更(29)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	理工学展開科目	基礎理工学PBL	3前	2				16	11		1		兼 41 39	教育内容の充実のため、担当教員の追加 (29)	
		応用理工学PBL	3後	2				8	16		1		兼 41 39		
		機械数学	1前		2				1						
		物理学実験	1後		2								兼 4 3		
		工業力学基礎・演習	1後		2			2							
		機械物理学	2前		2						1				
		フーリエ解析	2後		2								兼 3		
		ベクトル解析	2後		2								兼 2		
		環境地球科学	2後		2								兼 1		
		宇宙科学概論	2後		2								兼 1		
		確率統計	2後		2								兼 2		
		品質管理	2・3後		2								兼 1		
		建築図学	1前		2								兼 1		
		原子と分子	1前		2								兼 2		
		宇宙科学	3前		2								兼 1		
		気象学	3前		2								兼 1		
		建築物理シミュレーション	3前		1.5					1					
		大気海洋科学	3後		2								兼 1		
		地域安全システム工学	3後		2					1					
		物質の状態と変化	1後		2								兼 1		
		電気磁気学1	1後		2			2							
		電気磁気学2	2前		2			2							
		電気磁気学3	2前		2			2							
		電気磁気学4	2後		2			2							
		図学	2前		2								兼 1		
		化学実験	2通		2								兼 3		
		波動と光	1後		2								兼 2 1		教育内容の充実のため、担当教員の追加 (29)
		熱物理学	1・2後		2								兼 4		
		複素関数	2・3前		2								兼 3		
		微分方程式	2前		2								兼 3		
物理数学1	1前		2					1							
物理数学2	1後		2			1									
統計科学A	2後		2								兼 1				
統計科学B	3前		2								兼 1				
解析力学	4前		2			1					兼 1				
専門科目	必修科目	計算理学基礎	1後	2								兼 1			
		サイエンス解析	2前	2			1	5	4						
		卒業研究	4通	8			21	21							
専門科目	機械科目群A	機械工学セミナー	1前		1		6	5		6					
		機械製図	1前		1			1							
		機械設計製図	1後		1			2							
		機械工学実習	1後		2		1			1					
		機械工作法	1前		2					1					
		機械材料学	1後		2					1					
		材料力学基礎・解析	2前		3		2								
		熱力学基礎・解析	2前		3		1								
		流体力学基礎・解析	2前		3		1								
		熱工学	2後		2		1								
		流体力学	2後		2		1								
		機械設計学基礎	2後		2				1						
		機械計測工学	2後		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専門教育科目	機械科目群A	CAD演習	2後	1				1					
		機械力学基礎・解析	3前	3			1						
		システム制御	3前	2				1					
		伝熱学	3前	2				1					
		流体工学	3前	2				1					
		機械応用設計・解析	3前	1				1		1			
		機械工学実験1	3前	2			6	5		6			
		機械工学実験2	3後	2			6	5		6			
		機械力学	3後	2			1						
		熱エネルギー工学	3後	2			1						
		エネルギー移動工学	3後	2				1					
		流体エネルギー工学	3後	2			1						
		テクニカルイングリッシュ	4前	1			6	5		6			
		工業倫理	2後・3前	1			6	5		6			
		機械科目群B	機械加工学	3前		2					1		
材料と弾性の力学	3前			2		1							
メカトロニクス	3前			2		1							
計算力学	3前			2			1						
工業概論（機械）	3後			2		1	5						
電気電子科目群A	電気電子工学入門	1前		2		6	4		6				
	電気電子数学	1前		2			1						
	電気回路3	2前		2		1							
	過渡現象論	2後		2			2						
	情報伝送工学	2後		2		1							
	電気電子計測工学	2前		2			1						
	電気電子基礎実験1	2前		2		6	4		6				
	電気電子基礎実験2	2後		2		6	4		6				
	電気機器工学	2後		2			1						
	電子物性工学	2後		2		1							
	計算機工学	2後		2			2						
	電気エネルギー変換工学	3前		2			1						
	通信工学	3前		2		1							
	電磁波・光工学	3前		2		1							
	線形システム	3前		2		1							
電気電子工学実験1	3前		2		6	4		6					
電気電子工学実験2	3後		2		6	4		6					
制御工学	3後		2			1							
電気電子科目群B	マイクロコンピュータ工学	4前		2			1						
	電力エネルギー工学	3前		2					1				
	電波・アンテナ工学	3後		2		1							
	情報理論	3前		2					1				
	高電圧工学	3前		2						兼	1		
	半導体工学	3前		2		1							
	集積回路工学	3後		2		1							
	電気電子材料	3後		2		1							
	電気法規および施設管理	3後		2						兼	1		
	通信方式	3後		2		1							
	電子機器	3後		2						兼	1		
	デジタル回路	3後		2					1				
	電気電子英語	3後		2							兼	1	
	電気機器設計・製図	4前		2						1			
	通信法規	4前		2							兼	1	
工業概論（電気電子）	3後		2		1	5							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	福祉メカトロニクス科目群A	メカトロニクス入門	1前		2		5	6		1		
		情報処理	1前		2		1					
		材料力学1	2前		2		1					
		材料力学2	2後		2		1					
		電磁気学1	2前		2		1					
		電磁気学2	2後		2		1					
		機器設計製図	2前		1					1		
		複合システム解析	2後		2		1					
		バイオメカニズム	2後		2				1			
		制御工学1	2後		2				1			
		制御工学2	3後		2				1			
		機械工学実験	2後		2		1			1		
		線形システム論	3前		2				1			
		非線形システム概論	3後		2				1			
		機器設計工学1	3前		2		1					
		機構力学	3前		2		1					
		電気機器1	3前		2				1			
		計測工学1	3前		2				1			
		電気電子工学実験	3前		2				3		1	
	ロボット工学	3後		2				1				
	計測制御工学実験	3後		2			1	1		1		
	福祉メカトロニクス科目群B	電気回路演習	2後		1		1					
		生体情報工学	1後		2				1			
		電磁気学演習	2後		1		1					
		回路過渡応答論	2前		2		1					
		熱・流体工学	2後		2				1			
		機器設計工学2	3後		2		1					
		機器設計工学演習	3前		2				1			
		電気機器2	3後		2				1			
		計測工学2	3後		2				1			
		システム信号処理	3前		2				1			
		電力システム工学	3後		2				1			
		生体運動計測法	3後		2		1		1			
		現代制御工学	4前		2				1			
	パワーエレクトロニクス	4前		2				1				
	テクニカルコミュニケーション	4前		2			5	6		2		
	工業概論(メカトロニクス)	3後		2			1	5				
	建築学科目群A	建築総論	1前		2		4	4		1		
		建築構法	1前		2		1	3				
建築CAD製図1		1後		2						兼1		
建築CAD製図2		2前		2					1			
住居論		1後		2		1						
構造力学1		1後		2			1					
構造力学1演習		1後		1			1					
構造力学2		2前		2			1					
建築計画1		2前		2		1						
建築計画2		2後		2					1			
建築環境工学1		2前		2				1				
建築環境工学2		2後		2		1						
建築環境工学演習		2後		1		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	建築学 科目群A	建築材料		2				1					
		建築材料実験	2後	1				1					
		建築計画設計演習1	2後	3			1			1			
		建築計画設計演習2	3前	3			1	1					
		構造解析	2後	2				1					
		建築構造設計1	2後	2			1						
		木質構造	2後	2				1					
		建築法規	3前	2								兼1	
		技術者倫理	3前・3後	2								兼1	
		都市計画	3前	2					1				
		建築設備計画1	3前	2			1						
		鉄筋コンクリート構造	3前	2			1						
		建築施工学	3前	2								兼1	
	建築ワークショップ	3後	2			3	4		1				
	建築英語	4前	2			1	4		1				
	建築学 科目群B	日本建築史	1・2後		2								兼1
		建築環境解析	2前		1				1				
		測量学実習	2前		1.5								兼1
		建築構造設計2	3後		2		1						兼1
		西洋建築史	1・2後		2								兼1
		福祉環境計画	3前		2		1						
		建築設備計画2	3後		2							兼1	
		建築耐震システム	3前		2		1						
		建築環境計画1	3前		2		1						
		建築環境計画2	3後		2		1						
		基礎構造	3前		2							兼1	
		建築設計演習	3後		3							兼2	
		塑性設計法	3後		2		1					兼1	
	鉄骨構造	3後		2							兼1		
	工業概論(建築)	3後		2		1	5						
	コース 共通科目	電気工学概論	2前		2						1		
		材料力学	2前・2後		2		2						兼1
		プログラミング	1前・1後		2		1	1		3			
音響工学		3・4前		2		1							
機械工学概論		3前		2					1				
電気回路1		1前・1後		2		2						兼1	
電気回路2		1後・2前		2		2						兼1	
電子回路1		2後		2			3						
電子回路2		3前		2			3						
数値解析		2後		2			2						
プラズマ工学		3後・4前		2		1			1				
スポーツ工学		3前		2		1							
身体運動機能学		3前		2			1						
リハビリテーション工学		3後		2			1					兼1	
論文輪講		4前		1		11	10		8				
科学英語表現法		3後		2			2						
インターンシップA		2・3前		1		1							
インターンシップB	2・3前		2		1								
職業指導	3前		2								兼1		
起業家育成講座	1・2・3・4前		2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教育の制度と経営論	2後		2							兼 1	
	教職論	2前		2							兼 1	
	教育課程と方法論	2後		2							兼 1	
	教育心理学	2前		2							兼 1	
	工業科指導法A	2前		2							兼 1	
	工業科指導法B	3前		2							兼 1	
	教育実習（高）	4前		2							兼 1	
	教育実習事前・事後指導	4前		2							兼 1	
	教職実践演習	4後		3							兼 1	
											1 担当教員の見直しのため(29)	
	教育原理	1後		2							兼 1	
	教育方法の理論と実践	3前		2							兼 1	
	生徒指導の理論と方法	2前		1							兼 1	
											1 担当教員の見直しのため(29)	
	特別活動の方法と理論	2後		2							兼 1	
教育相談の理論と実際	3後		2							兼 1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
14	389	0	403	14	431	0	445	
				[0]	[42]	[0]	[42]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	初等教育のためのICT活用	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
2	「読むこと」と自己開拓	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
3	手作り絵本の楽しみ	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
4	版画の楽しみ	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
5	中国史学緒論	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
6	中世イタリアの生活史Ⅱ	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
7	東アジア史の諸相	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
8	国際関係入門	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
9	現代国際政治と日本	2	2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
10	現代社会の諸問題	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
11	Education of the World in Comparative Perspective	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
12	子どものこころの育ち	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
13	企業会計の基礎	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
14	企業ファイナンス入門	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
15	グローバル経済入門	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
16	経営学の基礎	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
17	経営学で物事をみる	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
18	経済学を学ぶ	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
19	資本市場論	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
20	日本経済入門	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
21	人間・労働と技術の現代史	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
22	経済発展と貧困削減	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
23	社会調査の基礎	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
24	環境と生物	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
25	ゲーム理論と社会	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
26	現代天文学と生命	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
27	栽培学習論	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
28	数学入門	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
29	食品材料概説	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
30	植物細胞工学	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
31	数理の世界	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
32	家族と法	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
33	地域の住まい論	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
34	アルコール関連問題入門	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
35	市民参加と現代社会	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
36	東南アジアの社会と教育	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
37	保育学基礎論	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
38	学びと生活の探求	2	1・2 前	一般	選択	隔年開講のため
39	地域と情報	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
40	現代社会と心理学	2	1・2・3・4 後	一般	選択	隔年開講のため
41	人体の構造と生理	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため
42	高齢者の身体機能と疾病の特徴	2	1・2・3・4 前	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	クルマと社会の関わり	2	1・2・3・4 後	一般	選択	教養教育課程の見直しに伴う科目廃止。代替措置は無し。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講又は廃止とした科目は、全て教養教育科目（自由選択科目）である。  
 未開講科目は、全て隔年開講科目であり、次年度以降の開講により履修が可能である。  
 また、教養教育課程の見直しに伴い廃止となった科目については、廃止となった科目の主題内容に関わる新たな科目を追加し、幅広く多数の科目から選択が可能である。  
 なお、学生に対しては、学部で行うガイダンスと毎年度発行する「教養教育科目ガイドブック」により、当該年度の開講科目等について周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{43}{403} = \boxed{10.66\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	151,443 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	151,443 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	91,269 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	91,269 m <sup>2</sup>			
	小 計	242,712 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	242,712 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	180,272 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	180,272 m <sup>2</sup>			
	合 計	422,984 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	422,984 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		114,886 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	114,886 m <sup>2</sup>			
		( 114,886 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 114,886 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 学部等改組に伴う改修のため(29)		
	64 室	169 室 173 室	362 室 363 室	20 室 (補助職員 0 人)	3 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		理工学部 創生工学科		59 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 教育研究環境の充実のため(29)
	理工学部 創生工学科	777,208 [202,695] 769,413 [202,161] (777,208 [202,695]) (769,413 [202,161])	11,484 [4,208] 11,536 [4,242] (11,484 [4,208]) (11,536 [4,242])	4,235 [4,235] 4,183 [4,183] (4,235 [4,235]) (4,183 [4,183])	3,244 3,059 (3,244) (3,059)	668 640 (668) (640)	( 0)	
	計	777,208 [202,695] 769,413 [202,161] (777,208 [202,695]) (769,413 [202,161])	11,484 [4,208] 11,536 [4,242] (11,484 [4,208]) (11,536 [4,242])	4,235 [4,235] 4,183 [4,183] (4,235 [4,235]) (4,183 [4,183])	3,244 3,059 (3,244) (3,059)	668 640 (668) (640)	( 0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	7,631 m <sup>2</sup>		940 948		605,278 603,833		棚増設のため(29)	
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	5,056 m <sup>2</sup>		弓道場、テニスコート、プール、陸上競技場 等					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当り研究費等	—千円	—千円	図書購入費	—千円	—千円	—千円
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	—千円	—千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	135	—	540	学士（教育）	1.06	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
学校教育課程	4	—	—	—	学士（教育）	—	平成11年度	同上	平成28年度より学生募集停止
情報社会文化課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成元年度	同上	同上
人間福祉科学課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成9年度	同上	同上
経済学部						1.04			
経済学科	4	90		360	学士（経済学）		平成6年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度入学定員減（△40人）
経営システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員減（△50人）
地域システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員増（35人）
社会イノベーション学科	4	40		160	学士（経済学）		平成29年度	同上	
各学科共通			3年次 10	20					
医学部									
医学科	6	100	2年次 10	650	学士（医学）	1.00	昭和51年度	大分県由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地	
看護学科	4	60	3年次 6	252	学士（看護学）	1.01	平成6年度	同上	
理工学部									
創生工学科	4	235	3年次 7	954	学士（工学）	1.01	平成29年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
共創理工学科	4	150	3年次 3	606	学士（理工学）	1.05	平成29年度	同上	
工学部									
機械・エネルギーシステム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
知能情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
応用化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成4年度	同上	同上
福祉環境工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	同上	同上
各学科共通			3年次 —	—					
福祉健康科学部									
福祉健康科学科	4	100	—	400	学士（福祉健康科学）	1.04	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
【大学院】									
教育学研究科 （修士課程）									
学校教育専攻	2	21	—	42	修士（教育学）	0.92	平成4年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
教科教育専攻 （専門職学位課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成4年度	同上	平成28年度より学生募集停止
教職開発専攻	2	10	—	20	教職修士（専門職）	0.95	平成28年度	同上	

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
経済学研究科 (博士前期課程)									
経済社会政策専攻	2	8	—	16	修士(経済学)	0.74	平成11年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
地域経営政策専攻	2	12	—	24	修士(経営学)	0.45	平成11年度	同上	
(博士後期課程)									
地域経営専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	1.11	平成19年度	同上	
医学系研究科 (修士課程)									
医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.66	平成15年度	大分県由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地	
看護学専攻	2	10	—	20	修士(看護学)	0.70	平成10年度	同上	
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	0.77	平成20年度	同上	
工学研究科 (博士前期課程)									
工学専攻	2	135	—	270	修士(工学)	1.10	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
機械・エネルギーシステム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
知能情報システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
応用化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
建設工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉環境工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成13年度	同上	同上
(博士後期課程)									
工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	平成28年度より学生募集停止
環境工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉社会科学研究科 (修士課程)									
福祉社会科学専攻	2	12	—	24	修士(福祉社会学)	0.74	平成14年度	大分県大分市大字旦野原700番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 創生工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	秋田 昌憲	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 通信工学 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 通信方式 音響工学 論文輪講						
専	教授	今戸 啓二	平成29年4月	応用理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 材料力学1 材料力学2 機械工学実験 機器設計工学1 機構力学 機器設計工学2 テクニカルコミュニケーション 論文輪講						
専	教授	大鶴 徹	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 建築環境工学2 建築環境工学演習 建築ワークショップ 建築環境計画1	専	教授	大鶴 徹	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 建築環境工学2 建築環境工学演習 建築ワークショップ 建築環境計画1	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	教授	小川 幸吉	平成29年4月	応用理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 電気回路演習 回路過渡応答論 テクニカルコミュニケーション 電気回路1 電気回路2 論文輪講						
専	教授	小田 和広	平成29年4月	基礎理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 材料力学基礎・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 材料と弾性の力学 材料力学 プログラミング						
専	教授	金澤 誠司	平成29年4月	イノベーション科学技術論 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 電気磁気学1 電気磁気学2 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電気回路1 電気回路2 論文輪講 インターンシップA インターンシップB						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	菊池 健児	平成29年4月	建築構造工学※ 卒業研究 建築総論 建築構法※ 建築構造設計1 鉄筋コンクリート構造 建築構造設計2 建築耐震システム 塑性設計法	専	教授	菊池 健児	平成29年4月	建築入門 建築構造工学※ 卒業研究 建築総論 建築構法※ 建築構造設計1 鉄筋コンクリート構造 建築構造設計2 建築耐震システム 塑性設計法	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	教授	工藤 孝人	平成29年4月	エレクトロニクスの世界I※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 工業概論(機械)※ 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電磁波・光工学 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電波・アンテナ工学 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 工業概論(建築)※ 数値解析 論文輪講						
専	教授	古賀 正文	平成29年4月	エレクトロニクスの世界I※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 電気電子工学入門※ 情報伝送工学 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 線形システム 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 論文輪講						
専	教授	後藤 真宏	平成29年4月	基礎理工学PBL 工業力学基礎・演習 卒業研究 機械工学セミナー 機械工学実習 材料力学基礎・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 材料力学						
専	教授	鈴木 義弘	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 住居論 建築計画1 建築計画設計演習1 建築計画設計演習2 建築ワークショップ 建築英語 福祉環境計画	専	教授	鈴木 義弘	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 住居論 建築計画1 建築計画設計演習1 建築計画設計演習2 建築ワークショップ 建築英語 福祉環境計画	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	教授	田上 公俊	平成29年4月	基礎理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 熱力学基礎・解析 熱工学 機械工学実験1 機械工学実験2 熱エネルギー工学 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 メカトロニクス						
専	教授	戸高 孝	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 電気磁気学3 電気磁気学4 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気回路3 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電気電子材料 論文輪講						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	濱川 洋充	平成29年4月	基礎理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 流体力学基礎・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 流体エネルギー工学 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	教授	濱本 誠	平成29年4月	エネルギー科学※ 基礎理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 電磁気学1 電磁気学2 電磁気学演習 テクニカルコミュニケーション プラズマ工学 論文輪講						
専	教授	前田 寛	平成29年4月	スポーツと生活 生涯スポーツII 生涯スポーツV スポーツ文化科学(春・夏の野外活動) スポーツ文化科学(キャンプの理論と実践) スポーツ文化科学(スキー・スノーボードの理論と実践) スポーツ文化科学(秋・冬の野外活動) 卒業研究 メカトロニクス入門※ 生体運動計測法 テクニカルコミュニケーション スポーツ工学 論文輪講						
専	教授	益子 洋治	平成29年4月	エレクトロニクスの世界I※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 電気磁気学1 電気磁気学2 電気磁気学3 電気磁気学4 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電子物性工学 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 半導体工学 集積回路工学 論文輪講						
専	教授	松尾 孝美	平成29年4月	基礎理工学入門 情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 物理数学2 解析力学※ サイエンス解析 卒業研究 メカトロニクス入門※ 情報処理 複合システム解析 計測制御工学実験 テクニカルコミュニケーション 論文輪講						
専	教授	真鍋 正規	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 建築設備計画1 建築ワークショップ 建築環境計画2	専	教授	真鍋 正規	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 卒業研究 建築総論 建築設備計画1 建築ワークショップ 建築環境計画2	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	教授	山田 英巳	平成29年4月	地球環境とエネルギー入門※ 卒業研究 機械工学セミナー 流体力学 機械計測工学 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	劉 孝宏	平成29年4月	基礎理工学PBL 工業力学基礎・演習 卒業研究 機械工学セミナー 機械力学基礎・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 機械力学 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	准教授	池内 秀隆	平成29年4月	福祉テクノロジー入門 基礎理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 制御工学2 計測制御工学実験 機器設計工学演習 テクニカルコミュニケーション プログラミング リハビリテーション工学 論文輪講						
専	准教授	岩本 光生	平成29年4月	地球環境とエネルギー入門※ 応用理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 機械製図 機械工学実験1 機械工学実験2 エネルギー移動工学 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 工業概論(建築)※						
専	准教授	上見 憲弘	平成29年4月	応用理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 計測工学1 電気電子工学実験 生体情報工学 システム信号処理 テクニカルコミュニケーション 電子回路1 電子回路2 論文輪講						
専	准教授	大谷 俊浩	平成29年4月	建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築構法※ 構造力学1 構造力学1演習 建築材料 建築材料実験 建築ワークショップ 建築英語 工業概論(建築)※	専	准教授	大谷 俊浩	平成29年4月	建築入門 建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築構法※ 構造力学1 構造力学1演習 建築材料 建築材料実験 建築ワークショップ 建築英語 工業概論(建築)※	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	准教授	岡内 優明	平成29年4月	スポーツと生活 生涯スポーツI 生涯スポーツIV スポーツ文化科学(バレーボールの科学) スポーツ文化科学(キャンプの理論と実践) スポーツ文化科学(スキー・スノーボードの理論と実践) スポーツ文化科学(健康トレーニング) 応用理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 生体運動計測法 テクニカルコミュニケーション 身体運動機能学 論文輪講						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	菊池 武士	平成29年4月	基礎理工学PBL 物理数学1 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ メカトロニクス入門※ バイオメカニズム ロボット工学 熱・流体工学 現代制御工学 テクニカルコミュニケーション 工業概論(メカトロニクス)※ 工業概論(建築)※ 論文輪講						
専	准教授	栗原 央流		応用理工学PBL 機械数学 卒業研究 機械工学セミナー 流体工学 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 計算力学						
専	准教授	高坂 拓司	平成29年4月	エネルギー科学※ 応用理工学PBL サイエンス解析 卒業研究 メカトロニクス入門※ 線形システム論 非線形システム概論 電気電子工学実験 パワーエレクトロニクス テクニカルコミュニケーション 数値解析 論文輪講						
専	准教授	後藤 雄治	平成29年4月	エネルギー科学※ 基礎理工学PBL 卒業研究 メカトロニクス入門※ 制御工学1 電気機器1 電気電子工学実験 電気機器2 計測工学2 電力システム工学 テクニカルコミュニケーション 論文輪講						
専	准教授	小林 祐司	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 自然災害と防災の科学※ 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 地域安全システム工学 サイエンス解析 卒業研究 建築総論 建築構法※ 建築計画設計演習2 都市計画 建築ワークショップ 建築英語	専	准教授	小林 祐司	平成29年4月	建築入門 情報セキュリティ基礎 自然災害と防災の科学※ 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 地域安全システム工学 サイエンス解析 卒業研究 建築総論 建築構法※ 建築計画設計演習2 都市計画 建築ワークショップ 建築英語	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	准教授	佐々木 朱美	平成29年4月	英語ゼミナールD 英語I 英語II 卒業研究 科学英語表現法						
専	准教授	佐藤 輝被	平成29年4月	エレクトロニクスの世界II※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL サイエンス解析 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 計算機工学 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 マイクロコンピュータ工学 電子回路1 電子回路2 論文輪講						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	柴田 克成	平成29年4月	基礎理工学入門 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子数学 過渡現象論 電気電子基礎実験 1 電気電子基礎実験 2 電気電子工学実験 1 電気電子工学実験 2 制御工学 論文輪講						
専	准教授	園井 千音	平成29年4月	英語ゼミナールC 英語 I 英語 II 卒業研究 科学英語表現法						
専	准教授	田中 圭	平成29年4月	基礎理工学入門 建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築構法※ 構造力学 2 構造解析 木質構造 建築ワークショップ 建築英語 工業概論(建築)※	専	准教授	田中 圭	平成29年4月	建築入門 基礎理工学入門 建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築構法※ 構造力学 2 構造解析 木質構造 建築ワークショップ 建築英語 工業概論(建築)※	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	准教授	樋田 雄二	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL サイエンス解析 卒業研究 電気電子工学入門※ 過渡現象論 電気電子計測工学 電気電子基礎実験 1 電気電子基礎実験 2 電気機器工学 電気エネルギー変換工学 電気電子工学実験 1 電気電子工学実験 2 論文輪講						
専	准教授	富来 礼次	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 建築物理シミュレーション サイエンス解析 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築環境工学 1 建築ワークショップ 建築英語 建築環境解析 工業概論(建築)※	専	准教授	富来 礼次	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 建築物理シミュレーション サイエンス解析 卒業研究 工業概論(機械)※ 工業概論(電気電子)※ 工業概論(メカトロニクス)※ 建築総論 建築環境工学 1 建築ワークショップ 建築英語 建築環境解析 工業概論(建築)※	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	准教授	中江 貴志	平成29年4月	基礎理工学入門 応用理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 機械設計製図 システム制御 機械工学実験 1 機械工学実験 2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	橋本 淳	平成29年4月	基礎理工学入門 応用理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 伝熱学 機械応用設計・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	准教授	福永 道彦	平成29年4月	機械技術概論 応用理工学PBL 卒業研究 機械工学セミナー 機械設計製図 機械設計学基礎 CAD演習 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	准教授	緑川 洋一	平成29年4月	基礎理工学入門 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 計算機工学 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電子回路1 電子回路2 論文輪講						
専	講師	HARRAN THOMAS JAMES	平成29年4月	英語ゼミナールB 英語I 英語II						
専	助教	石松 克也	平成29年4月	機械工学セミナー 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	助教	市来 龍大	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電力エネルギー工学 プラズマ工学 論文輪講						
専	助教	大津 健史	平成29年4月	メカトロニクス入門※ 機器設計製図 機械工学実験 テクニカルコミュニケーション 論文輪講						
専	助教	加藤 義隆	平成29年4月	サイエンス解析 機械工学セミナー 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 機械工学概論						
専	助教	楠 敦志	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電気工学概論 論文輪講						
専	助教	齋藤 晋一	平成29年4月	サイエンス解析 機械工学セミナー 機械応用設計・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
専	助教	佐藤 尊	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 電気機器設計・製図 論文輪講						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	末光 治雄	平成29年4月	電気電子工学実験 計測制御工学実験 テクニカルコミュニケーション 論文輪講						
専	助教	堤 紀子	平成29年4月	サイエンス解析 機械工学セミナー 機械材料学 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 プログラミング						
専	助教	西嶋 仁浩	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 デジタル回路 論文輪講						
専	助教	原 正佳	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 プログラミング 論文輪講						
専	助教	姫野 由香	平成29年4月	基礎理工学入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 建築総論 建築CAD製図2 建築計画2 建築計画設計演習1 建築ワークショップ 建築英語	専	助教	姫野 由香	平成29年4月	建築入門 基礎理工学入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 建築総論 建築CAD製図2 建築計画2 建築計画設計演習1 建築ワークショップ 建築英語	教育内容の充実のため科目を追加 H29.6変更書提出予定(29)
専	助教	松岡 寛憲	平成29年4月	機械工学セミナー 機械工学実習 機械工作法 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】 機械加工学						
専	助教	水鳥 明	平成29年4月	電気電子工学入門※ 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電気電子工学実験1 電気電子工学実験2 情報理論 プログラミング 論文輪講						
専	助教	山本 隆栄	平成29年4月	機械物理学 サイエンス解析 機械工学セミナー 機械工学実験1 機械工学実験2 テクニカルイングリッシュ 工業倫理【隔年】						
兼任	教授(学部長)	豊田 昌宏	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼任	教授	朝井 政治	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼任	教授	穴井 孝信	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※						
兼任	教授	池内 宣夫	平成29年4月	応用ドイツ語Ⅱ 教養ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅱ						
兼任	教授	石井 まこと	平成29年4月	地域における仕事と社会【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	石川 雄一	平成29年4月	環境の化学入門※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼担	教授	石川 雄一	平成29年4月	環境の化学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	科目の名称見直しのため(29)
兼担	教授	市原 宏一	平成29年4月	プロジェクト型学習入門I～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門II～インターンシップセミナーB～ 大分の水I 大分の水II						
兼担	教授	市原 靖士	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 ものづくり入門【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】 自然災害と防災の科学※ 工業科指導法A 工業科指導法B						
兼担	教授	鶴崎 清貴	平成29年4月	企業ファイナンス入門【隔年】						
兼担	教授	氏家 誠司	平成29年4月	くらしの化学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 起業家育成講座						
兼担	教授	大賀 恭	平成29年4月	環境の化学入門※ サイエンス基礎※ 原子と分子 物質の状態と変化 化学実験	兼担	教授	大賀 恭	平成29年4月	環境の化学 サイエンス基礎※ 原子と分子 物質の状態と変化 化学実験	科目の名称見直しのため(29)
兼担	教授	大崎 美泉	平成29年4月	企業会計の基礎【隔年】						
兼担	教授	大杉 至	平成29年4月	現代社会の諸問題【隔年】						
兼担	教授	小笠原 悟	平成29年4月	金融とわたしたちの生活【隔年】						
兼担	教授	越智 義道	平成29年4月	統計科学A						
兼担	教授	甲斐 徳久	平成29年4月	化学史 くらしの化学※						
兼担	教授	片岡 晶志	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※	兼担	教授	片岡 晶志	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※ 運動器疾患と治療・予防	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	教授	河上 敬介	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼担	教授	城戸 照子	平成29年4月	中世イタリアの生活史I【隔年】 中世イタリアの生活史II【隔年】						
兼担	教授	衣笠 一茂	平成29年4月	社会福祉と自立思想						
兼担	教授	金 珍奎	平成29年4月	資本市場論【隔年】						
兼担	教授	工藤 欣邦	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※						
兼担	教授	久間 清喜	平成29年4月	版画の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	栗栖 由美子	平成29年4月	バロック音楽の世界【隔年】						
兼担	教授	黒川 勲	平成29年4月	西洋思想の源流【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	家本 宣幸	平成29年4月	幾何学【隔年】 基礎解析学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	高山 英男	平成29年4月	国際関係入門【隔年】						
兼担	教授	古城 和敬	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※ 教育心理学						
兼担	教授	兒玉 雅明	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼担	教授	財津 庸子	平成29年4月	南アジアの生活文化を知ろう【隔年】						
兼担	教授	佐々木 博康	平成29年4月	応用ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅱ						
兼担	教授	芝原 雅彦	平成29年4月	基礎理工学入門 身近な化学【隔年】 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	下田 憲雄	平成29年4月	ゲーム理論と社会【隔年】						
兼担	教授	末谷 大道	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 力学 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物理学実験 波動と光 解析力学※ 計算理学基礎						
兼担	教授	住岡 敏弘	平成29年4月	教育の制度と経営論						
兼担	教授	高見 利也	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	高見 博之	平成29年4月	経済学を学ぶ【隔年】						
兼担	教授	武内 珠美	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	教授	田中 修二	平成29年4月	大分美術史概論【隔年】						
兼担	教授	田中 星治	平成29年4月	器楽の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	田中 康彦	平成29年4月	数理の世界【隔年】 情報セキュリティ基礎 基礎代数学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	田畑 千秋	平成29年4月	古典文学講読【隔年】						
兼担	教授	寺井 伸浩	平成29年4月	基礎代数学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	土居 晴洋	平成29年4月	自然災害と防災の科学※						
兼担	教授	徳丸 治	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼担	教授	富畑 賢司	平成29年4月	知的財産入門 知的財産論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	中島 誠	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 基礎理工学入門 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	仲野 誠	平成29年4月	基礎理工学入門 現代天文学と生命【隔年】 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 宇宙科学概論 宇宙科学						
兼担	教授	長屋 智之	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 力学 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物理学実験						
兼担	教授	西野 浩明	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	西村 善博	平成29年4月	経済統計を読む【隔年】						
兼担	教授	平田 利文	平成29年4月	東南アジアの社会と教育【隔年】						
兼担	教授	福田 亮治	平成29年4月	ファジィの数理【隔年】 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 微分方程式						
兼担	教授	藤井 弘也	平成29年4月	身近な物理学【隔年】 地域と情報【隔年】						
兼担	教授	藤原 耕作	平成29年4月	国文学作品研究【隔年】						
兼担	教授	藤原 直樹	平成29年4月	人間・労働と技術の現代史【隔年】						
兼担	教授	古家 賢一	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	牧野 治敏	平成29年4月	人類の知的遺産と向き合う 生命観の変遷 カラダの見方・考え方 自然体験活動の理論と実践	兼担	教授	牧野 治敏	平成29年4月	人類の知的遺産と向き合う 生命観の変遷 カラダの見方・考え方 自然体験活動の理論と実践	大分の人と学問 教育内容の充実のため、担当 教員追加(29)
兼担	教授	松浦 恵子	平成29年4月	男女共同参画入門						
兼担	教授	松隈 久昭	平成29年4月	消費者と企業【隔年】						
兼担	教授	松田 聡	平成29年4月	バロック音楽の世界【隔年】						
兼担	教授	松本 正	平成29年4月	器楽の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	三次徳二	平成29年4月	教職実践演習						
兼担	教授	宮下 清	平成29年4月	日本のマネジメント【隔年】						
兼担	教授	宮町 良広	平成29年4月	カタリバでキャリアを拓く						
兼担	教授	望月 聡	平成29年4月	大分の人と学問 職業とキャリア開発 分大キャンパスライフ入門 食品材料概説【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	吉川 周二	平成29年4月	基礎解析学1 基礎解析学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	渡邊 亘	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	准教授	相浦 洋志	平成29年4月	経済学で物事をみる【隔年】	兼担	准教授	川崎 晃夫	平成29年4月	経済学で物事をみる【隔年】	担当教員退職のため、後任として担当(29)
兼担	准教授	青野 篤	平成29年4月	日本国憲法						
兼担	准教授	青柳 かおり	平成29年4月	イギリス近代史【隔年】						
兼担	准教授	浅海 靖恵	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼担	准教授	甘利 弘樹	平成29年4月	医学史のプロムナード【隔年】 中国史学緒論【隔年】 東アジア史の諸相【隔年】						
兼担	准教授	泉 好弘	平成29年4月	基礎理工学入門 植物細胞工学【隔年】 サイエンス基礎※ 基礎生物学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	宇野 真人	平成29年4月	企業の価格戦略と消費者の行動【隔年】						
兼担	准教授	大井 尚司	平成29年4月	交通からみた地域社会【隔年】						
兼担	准教授	大隈 ひとみ	平成29年4月	数学入門【隔年】 基礎代数学2 基礎代数学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	大下 晴美	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※	兼担	准教授	大下 晴美	平成29年4月	男女共同参画入門 国際健康コンシェルジュ養成講座※	教育内容充実のため、担当教員を追加(29)
兼担	准教授	大竹 哲史	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	大野 歩	平成29年4月	保育学基礎論【隔年】						
兼担	准教授	大野 貴雄	平成29年4月	微分法と数学【隔年】						
兼担	准教授	大呂 興平	平成29年4月	食と農の地理学【隔年】						
兼担	准教授	岡田 正彦	平成29年4月	生涯学習論入門 大学開放論-社会人の学びと大学生の学び- 学習ボランティア入門 中小企業の魅力の発見と発信～インターンシップセミナー～ プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～ 教育原理	兼担	教授	岡田 正彦	平成29年4月	生涯学習論入門 大学開放論-社会人の学びと大学生の学び- 学習ボランティア入門 中小企業の魅力の発見と発信～インターンシップセミナー～ プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～	職位変更のため(29)
					兼担	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	教育原理	担当教員の見直しのため(29)
兼担	准教授	木村 雄一	平成29年4月	経済発展と貧困削減【隔年】						
兼担	准教授	久木元 美琴	平成29年4月	子育て支援の地理学【隔年】						
兼担	准教授	久保田 亮	平成29年4月	文化人類学【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	小山 拓志	平成29年4月	地生態学【隔年】 自然災害と防災の科学※						
兼任	准教授	佐藤 隆	平成29年4月	経済と倫理【隔年】	兼任	講師	佐藤 隆	平成29年4月	経済と倫理【隔年】	他機関へ異動後、非常勤講師として担当のため(29)
兼任	准教授	柴田 茂紀	平成29年4月	グローバル経済入門【隔年】						
兼任	准教授	島田 和典	平成29年4月	初等教育のためのICT活用【隔年】	兼任	准教授	島田 和典	平成29年4月	初等教育のためのICT活用【隔年】	教員の退職のため なお、当該科目は複数の教員で担当しているため支障がない(29)
				クルマと社会の関わり【隔年】					クルマと社会の関わり【隔年】	教養教育課程の見直しに伴う科目廃止(29)
				初等教育のためのものづくり【隔年】					初等教育のためのものづくり【隔年】	教員の退職のため なお、当該科目は複数の教員で担当しているため支障がない(29)
兼任	准教授	下條 美恵子	平成29年4月	海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅰ) 海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅱ) 海外短期語学研修(中国・江漢大学) 海外短期語学研修(ドイツ・ライプツィヒ大学) トビタテ留学準備英語 日本語学Ⅰ	兼任	准教授	下條 美恵子	平成29年4月	海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅰ) 海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅱ) 海外短期語学研修(中国・江漢大学) 海外短期語学研修(ドイツ・ライプツィヒ大学) トビタテ留学準備英語 日本語学Ⅰ	
				ミニトビタテ海外研修					教育内容の充実のため科目を追加(29)	
兼任	准教授	鄭 敬娥	平成29年4月	現代国際政治と日本【隔年】						
兼任	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	Education of the World in Comparative Perspective【隔年】	兼任	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	Education of the World in Comparative Perspective【隔年】	
									教育原理	担当教員の見直しのため(29)
兼任	准教授	高島 拓哉	平成29年4月	地域社会へのまなざし【隔年】						
兼任	准教授	竹中 真希子	平成29年4月	教育方法の理論と実践	兼任	教授	竹中 真希子	平成29年4月	教育方法の理論と実践	職位変更のため(29)
兼任	准教授	田中 洋	平成29年4月	子どものこころの育ち【隔年】						
兼任	准教授	田端 真弓	平成29年4月	スポーツ文化科学(運動学習の科学)						
兼任	准教授	津村 朋樹	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	准教授	都甲 由紀子	平成29年4月	南アジアの生活文化を知ろう【隔年】						
兼任	准教授	豊島 慎一郎	平成29年4月	市民参加と現代社会【隔年】						
兼任	准教授	中川 裕之	平成29年4月	数学と文化【隔年】						
兼任	准教授	仲本 大輔	平成29年4月	経営学の基礎【隔年】						
兼任	准教授	永岡 勝俊	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	准教授	永野 昌博	平成29年4月	基礎理工学入門 環境と生物【隔年】 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	南里 敬三	平成29年4月	ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅰ ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ			南里 敬三	平成29年4月	ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅰ ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ	狂言で大分を学ぶ 海外短期語学研修(フィリピン・アテネオマニラ大学) 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	准教授	西垣 肇	平成29年4月	基礎理工学入門 海流とその研究【隔年】 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 環境地球科学 気象学 大気海洋科学						
兼担	准教授	西口 宏泰	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	信岡(北岡)かおる	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	橋本 美枝子	平成29年4月	アルコール関連問題入門【隔年】						
兼担	准教授	長谷川 祐介	平成29年4月	社会調査の基礎【隔年】 生徒指導の理論と方法 特別活動の方法と理論	兼担	准教授	長谷川 祐介	平成29年4月	社会調査の基礎【隔年】 生徒指導の理論と方法	
					兼任	講師	長須 正明	平成29年4月	特別活動の方法と理論	担当教員の見直しのため(29)
兼担	准教授	原田 拓典	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 原子と分子 化学実験						
兼担	准教授	平田 誠	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	廣瀬 剛	平成29年4月	手作り絵本の楽しみ【隔年】						
兼担	准教授	藤井 康子	平成29年4月	水彩画の魅力【隔年】						
兼担	准教授	藤村 賢訓	平成29年4月	家族と法【隔年】						
兼担	准教授	包 聯群	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ						
兼担	准教授	牧 真理子	平成29年4月	会社法入門【隔年】						
兼担	准教授	松岡 菜穂子	平成29年4月	地域の住まい論【隔年】 自然災害と防災の科学※						
兼担	准教授	溝口 剛	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	准教授	御手洗 靖	平成29年4月	英語ゼミナールE:英語運用力養成訓練Ⅰ 英語ゼミナールF:英語運用力養成訓練Ⅱ						
兼担	准教授	村山 悠	平成29年4月	日本経済入門【隔年】						
兼担	准教授	本谷 るり	平成29年4月	会社組織のしくみ【隔年】						
兼担	准教授	守山 雅也	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	八木 直樹	平成29年4月	前近代日本の国家と社会【隔年】 共生社会論						
兼担	准教授	渡邊 和志	平成29年4月	教育実習(高) 教育実習事前・事後指導						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	渡邊 紘	平成29年4月	基礎解析学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	准教授	鈴木 雄清	平成29年4月	大分の地域資源 学習意欲の心理学 インストラクショナルデザイン入門 創造的思考法	兼任	准教授	鈴木 雄清	平成29年4月	大分の地域資源 学習意欲の心理学 インストラクショナルデザイン入門 創造的思考法	
									大分の人と学問	教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)
兼任	講師	池永 恵美	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼任	講師	岩野 卓	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼任	講師	金森 由美	平成29年4月	大分事情 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学校Ⅰ) 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学校Ⅱ) 海外短期語学研修(韓国・培材大学校) 海外短期語学研修(韓国・釜山大学校) 日本語文法分析  表現技術(口頭発表)	兼任	講師	金森 由美	平成29年4月	大分事情 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学校Ⅰ) 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学校Ⅱ) 海外短期語学研修(韓国・培材大学校) 海外短期語学研修(韓国・釜山大学校) 日本語文法分析	
									表現技術	科目名称見直しのため(29)
									狂言で大分を学ぶ	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼任	講師	行天 啓二	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	講師	工藤 修一	平成29年4月	福祉専門職の来し方【隔年】						
兼任	講師	近藤 隆司	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 情報セキュリティ基礎 力学 サイエンス基礎※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物理学実験 熱物理学						
兼任	講師	清水 良彦	平成29年4月	教職論 教育課程と方法論						
兼任	講師	紀 瑞成	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼任	講師	永田 誠	平成29年4月	学びと生活の探求【隔年】						
兼任	講師	中原 久志	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】	兼任	講師	中原 久志	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】	
									ものづくり入門	教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)
兼任	講師	花坂 歩	平成29年4月	「読むこと」と自己開拓【隔年】						
兼任	講師	原 恭彦	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎解析学2 基礎解析学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 統計科学B						
兼任	講師	廣野 俊輔	平成29年4月	障がい者福祉入門【隔年】						
兼任	助教	池部 実	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	大城 英裕	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	小畑 経史	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	賀川 経夫	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	佐藤 慶三	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	田中 健一郎	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴 【隔年】※						
兼任	助教	永田 亮一	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	西島 恵介	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	助教	平尾 翔太郎	平成29年4月	化学実験						
兼任	講師	井上 正文	平成29年4月	鉄骨構造						
兼任	講師	今永 和浩	平成29年4月	建築図学						
兼任	講師	上田 賢司	平成29年4月	建築施工学						
兼任	講師	上田 秀樹	平成29年4月	電気法規および施設管理						
兼任	講師	上野 友紀	平成29年4月	通信法規						
兼任	講師	岡 茂八郎	平成29年4月	電気の世界 I						
兼任	講師	大久保 利一	平成29年4月	電気の世界 II 高電圧工学 電気電子英語						
兼任	講師	大久保 渡	平成29年4月	日本文化論						
兼任	講師	沖野 隆久	平成29年4月	基礎解析学 1 基礎解析学 2 フーリエ解析 ベクトル解析 複素関数 微分方程式						
兼任	講師	城井 堅	平成29年4月	日本の環境政策						
兼任	講師	木下 和久	平成29年4月	機械と文明 機械の世界						
兼任	講師	児玉 伸彦	平成29年4月	測量学実習						
兼任	講師	齋藤 健二	平成29年4月	建築設備計画 2						
兼任	講師	佐藤 静	平成29年4月	フーリエ解析 複素関数						
兼任	講師	佐藤 光雄	平成29年6月	技術者倫理						
兼任	講師	佐藤 嘉昭	平成29年4月	基礎構造 材料力学						
兼任	講師	塩塚 隆生	平成29年4月	建築設計演習						
兼任	講師	重田 信爾	平成29年4月	建築CAD製図 1						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	高橋 淳一郎	平成29年4月	教育相談の理論と実際						
兼任	講師	武口 博文	平成29年4月	基礎代数学1 基礎代数学2 基礎代数学3 確率統計						
兼任	講師	岳野 公人	平成29年6月	職業指導						
兼任	講師	竹之内 和樹	平成29年4月	図学						
兼任	講師	竹本 義夫	平成29年4月	基礎解析学1 基礎解析学2 フーリエ解析 ベクトル解析 複素関数 微分方程式						
兼任	講師	永野 敬喜	平成29年4月	リハビリテーション工学						
兼任	講師	鍋島 隆	平成29年4月	エレクトロニクスの世界Ⅱ※ 電子機器 電気回路1 電気回路2						
兼任	講師	馬場 清	平成29年4月	基礎代数学1 基礎解析学2 基礎代数学2 応用理工学PBL 確率統計						
兼任	講師	黄 晒峻	平成29年4月	教養ハングルⅠ 教養ハングルⅡ						
兼任	講師	松岡 高弘	平成29年4月	日本建築史【隔年】 西洋建築史【隔年】						
兼任	講師	溝部 敏勝	平成29年4月	品質管理						
兼任	講師	光浦 高史	平成29年4月	建築設計演習						
兼任	講師	宮本 吉朗	平成29年4月	建築法規						
兼任	講師	山本 伸二	平成29年4月	建築構造設計2 塑性設計法						
兼任	講師	吉岡 孝	平成29年4月	情報処理入門						
					兼任	教授	相澤 仁	平成29年4月	子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家族支援	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	隅田 好美	平成29年4月	口腔から考える保健・医療・福祉	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	Day Stephen Robert	平成29年4月	地域ガバナンスとグローバルガバナンスを考える	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	吉田 和幸	平成29年4月	情報セキュリティ基礎	教育内容の充実のため兼任教員を追加(29)
					兼任	教授	渡邊 博子	平成29年4月	ユニバーサルデザインと人にやさしい社会	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	岩下 拓哉	平成29年4月	基礎理工学入門 力学 サイエンス基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物理学実験 波動と光 熱物理学	教育内容の充実のため担当教員を追加(29)
					兼任	准教授	加藤 典生	平成29年4月	企業経営と会計	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	金子 創	平成29年4月	社会科学方法論入門	教育内容の充実のため科目を追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	河野 伸子	平成29年4月	現代における青年の心理	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	北西 滋	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL サイエンス基礎	教育内容の充実のため担当教員を追加(29)
					兼任	准教授	清水 慶彦	平成29年4月	「現代音楽」とはなにか	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	中村 美保	平成29年4月	会計と社会	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	松岡 輝美	平成29年4月	革新的企業経営	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	山浦 陽一	平成29年4月	世界・日本・大分の農業経済論	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	池田 八果穂	平成29年4月	進化と多様性の生物学	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	三好 登	平成29年4月	大学と社会	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	両宮 洋子	平成29年4月	社会福祉学・高齢者介護を中心に	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	岩崎 瑞枝	平成29年4月	医療社会学	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	宇都宮 妙	平成29年4月	日常生活の法律	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	コモン ティエリ	平成29年4月	教養フランス語Ⅰ 教養フランス語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	佐々木 美江	平成29年4月	ビジネスジャパニーズ演習3 ビジネスジャパニーズ演習4	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	佐藤 裕哲	平成29年4月	コミュニケーション入門Ⅰ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	島田 義生	平成29年4月	スポーツ文化科学(イギリスで生まれたスポーツ) スポーツ文化科学(生涯スポーツの足がかりⅠ) スポーツ文化科学(生涯スポーツの足がかりⅡ)	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	鄧 紅	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	鄧 礼容	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	戸澤 興治	平成29年4月	運動器疾患と治療・予防	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	長須 正明	平成29年4月	特別活動の方法と理論	担当教員の見直しのため(29)
					兼任	講師	西本 一雄	平成29年4月	スポーツ文化科学(現代スポーツの問題点を探る-バレーボールを例にして-) スポーツ文化科学(現代スポーツの問題点を探る-卓球を例にして-)	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	久田 成昭	平成29年4月	道路施策概論	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	ブルカート クリストファー	平成29年4月	アカデミック・イングリッシュⅠ(リーディング&ライティング) アカデミック・イングリッシュⅡ(スピーキング) 海外短期語学研修(英国・セントラルランカシャー大学Ⅰ) 海外短期語学研修(英国・セントラルランカシャー大学Ⅱ) 国際理解教育:サステナビリティ 留学英語Ⅰ(リスニング) 留学英語Ⅱ(リーディング)	教育内容の充実のため科目を追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	劉美貞	平成29年4月	ハンゲルとその文化Ⅰ ハンゲルとその文化Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	姚宇龍	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	李末	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)

- (注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・**意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

- (注)・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
21	21	1	15	58	21	21	1	15	58	21	25	1	15	62
(21)	(21)	(1)	(15)	(58)						[ 0 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 4 ]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計（A）			後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（C）			後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（A）+（C）			後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年5月)	完成年度前に、定年規程の定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	教員組織編制の将来構想について、授業科目が確実に開設できるよう検討を始めた。(29)	
設 置 時 (29年5月)	教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時まで確実に教員を充足すること。	留意事項	当該授業科目「情報セキュリティ基礎」は、複数の教員が共同で実施する科目であり、教員補充が必要とされた部分(兼任補充可)も含めて、教員審査で判定可となった専任教員3名及び兼任教員5名が共同で実施することとした。(29)	
設 置 時 (29年5月)	累積成績指標値を導入していることを踏まえ、学生の履修指導・学習支援の充実に努めることが望まれる。	その他意見	毎学期終了後に累積成績指標値を含む成績は学生本人だけでなく保護者へ通知する。指導教員が成績の悪い学生には個別に呼び出しを行い、履修指導を行う。そこで、累積成績指標値を如何にして上げるか、また修得できなかったか科目の履修計画についても指導を行う。(29)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

### <理工学部 創生工学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>工学部で使用している建物に加えて、教育学部や教養教育棟などの既存施設の教室を効率的に共用することで、学部の教育を行うに十分な教室を確保する。</p>	<p>① 施設・設備</p> <p>学生の修学環境を改善するため、講義室を2部屋（180㎡）増やすこととした。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 理工学部教務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度：毎月1回程度（予定） 各コース1名 計10名で構成</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育課程表の編成に関する事、学部の教務事項に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 現時点では特記事項なし。</p> <p>b 実施方法 現時点では特記事項はなし。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 現時点では特記事項はなし。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 現時点では特記事項はなし。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施予定 有</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員へは教授会等で周知予定。学生へは要望事項への対応状況を示す方向で検討</p>
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年度には定員235名に対し、238名の第1期生を受け入れ、予定通り授業科目を開講しており、計画的に進んでいると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度までに受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年6月上旬 )



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 大分大学

## (2) 大学名 大分大学

## (3) 大学の位置

〒870-1192  
大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(キタノ セイゴウ) 北野正剛 (平成23年10月)		
学部長	(トヨダ マサヒロ) 豊田昌宏 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 共創理工学科 学士(理工学)	理学関係, 工学関係	4 年	150 人	3年次 3 人	606 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「意見伺い」又は「事前伺い」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.05倍	
志願者数	706 ( ) [ 11 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	540 ( ) [ 10 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	175 ( ) [ 2 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	158 ( ) [ 1 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.05											

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	158 [ 1 ] ( - )	— [ - ] ( - )							
2年次	/								
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	158 [ 1 ] ( - )								

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	158 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		%
合 計	158 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<理工学部 共創理工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	導入・転換	生涯学習論入門	1・2・3・4 前		2							兼 1	主題区分見直しに伴い、「導入・転換」から「福祉・地域」へ主題異動(29)  教育内容の充実のため、配当学期を追加(29)  隔年開講のため(29) 2 担当教員見直しのため(29)  教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)  隔年開講のため(29)  教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)  教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可  教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
	スポーツと生活	1・2・3・4 前		2							兼 2		
	大学開放論 -社会人の学びと大学生の学び-	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	大分の人と学問	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 1	
	学習ボランティア入門	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	カタリバでキャリアを拓く	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	職業とキャリア開発	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	中小企業の魅力の発見と発信～インターンシップセミナー～	1・2 前		2								兼 1	
	分大キャンパスライフ入門	1 前		2								兼 1	
	木材加工の技術	1・2・3・4 後		2								兼 2	
	コンピュータ科学入門	1・2・3・4 前		2			3	1	2	2		兼 2	
	情報処理入門	<del>1・2・3・4 前</del> 未開講		2								兼 1	
	初等教育のためのICT活用	<del>1・2・3・4 前</del>		2								兼 3	
	人類の知的遺産と向き合う	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	ものづくり入門	1・2・3・4 前 未開講		2								兼 1	
	「読むこと」と自己開拓	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 1	
	男女共同参画入門	1・2・3・4 後		2								兼 1	
	プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～	1・2・3・4 前		2								兼 2	
	プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～	1・2・3・4 後		2								兼 2	
	基礎理工学入門	1 前	2				5	3	1			兼 7	
コミュニケーション入門Ⅰ	1・2・3・4 前		2								兼 1		
大学と社会	1・2・3・4 前		2								兼 1		
文化・国際	大分美術史概論	1・2・3・4 前 <del>1・2・3・4 前</del>		2								兼 1	
	器楽の楽しみ	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 2	
	国文学作品研究	1 前		2								兼 1	
	古典文学講読	1・2 前		2								兼 1	
	水彩画の魅力	1・2・3・4 前 未開講		2								兼 1	
	手作り絵本の楽しみ	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 1	
	日本文化論	1・2・3・4 前 1・2・3・4 後		2								兼 1	
	西洋思想の源流	<del>1・2・3・4 前</del>		2								兼 1	
	バロック音楽の世界	1・2・3・4 後 未開講		2								兼 2	
	版画の楽しみ	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 1	
	文化人類学	1・2・3・4 前		2								兼 1	
	南アジアの生活文化を知ろう	<del>1・2・3・4 後</del>		2								兼 2	
	イギリス近代史	1・2・3・4 前		2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	文化・国際	前近代日本の国家と社会	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)	
		医学史のプロムナード	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		中国史学緒論	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		中世イタリアの生活史 I	1・2・3・4 前		2							兼 1		隔年開講のため(29)
		中世イタリアの生活史 II	1・2・3・4 前		2							兼 1		隔年開講のため(29)
		東アジア史の諸相	1・2・3・4 前		2							兼 1		隔年開講のため(29)
		国際関係入門	1・2・3・4 後		2							兼 1		教育効果向上のため、配当学期を変更(29)
		国際健康コンシェルジュ養成講座	1・2・3・4 後		1							兼 4		
		英語ゼミナールB	2・3・4 前		2							兼 1		
		英語ゼミナールC	2・3・4 前		2							兼 1		
		英語ゼミナールD	2・3・4 後		2							兼 1		
		英語ゼミナールE：英語運用力養成訓練 I	2・3・4 前		2							兼 1		
		英語ゼミナールF：英語運用力養成訓練 II	2・3・4 後		2							兼 1		
		応用中国語 I	2・3・4 前		2							兼 1		
		応用中国語 II	2・3・4 後		2							兼 1		
		応用ドイツ語 I	2・3・4 前		2							兼 1		
		応用ドイツ語 II	2・3・4 後		2							兼 1		
		大分事情	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		海外短期語学研修（韓国・ソウル女子大 1）	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		海外短期語学研修（韓国・ソウル女子大 2）	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		海外短期語学研修（韓国・培材大 1）	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		海外短期語学研修（韓国・釜山大 1）	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		海外短期語学研修（台湾・東海大 1）	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		海外短期語学研修（台湾・東海大 2）	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		海外短期語学研修（中国・江漢大 1）	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		海外短期語学研修（ドイツ・ライプツィヒ大 1）	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		教養ハンブル I	1 前		2							兼 1		
		教養ハンブル II	1 後		2							兼 1		
		教養ドイツ語 I	1 前		2							兼 2		
		教養ドイツ語 II	1 後		2							兼 2		
		ソーシャルネットワークと大分からの発信 I	1・2・3・4 後		2							兼 1		
		ソーシャルネットワークと大分からの発信 II	1・2・3・4 前		2							兼 1		
		トビタテ留学準備英語	1・2・3・4 前		2							兼 1		教育効果向上のため、配当学期を変更(29)
日本語学 I	1・2・3・4 後		2							兼 1				
日本語文法分析	1・2・3・4 前		2							兼 1				
表現技術	1・2・3・4 後										科目名の見直し及び教育効果向上のため配当学期の変更(29)			
表現技術（口頭発表）	1・2・3・4 前		2							兼 1				
初等教育のためのものづくり	1・2・3・4 後		2							兼 2	「自然・科学」から「文化・国際」へ主題異動及び担当教員見直しのため(29)			
「現代音楽」とはなにか	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)			
ハンブルとその文化 I	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)			
ハンブルとその文化 II	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)			
教養フランス語 I	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)			
教養フランス語 II	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	文化・国際	教養中国語Ⅰ	1・2・3・4 前		2						兼 4	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
		教養中国語Ⅱ	1・2・3・4 後		2						兼 4	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
		アカデミック・イングリッシュⅠ(リーディング&ライティング)	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		アカデミック・イングリッシュⅡ(スピーキング)	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		留学英語Ⅰ(リスニング)	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		留学英語Ⅱ(リーディング)	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		狂言で大分を学ぶ	1・2・3・4 前		2							兼 2	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		国際理解教育：サステナビリティ	1・2・3・4 前・後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ビジネスジャパニーズ演習3	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ビジネスジャパニーズ演習4	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		ミニトビタテ海外研修	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修(英国・セントラルランカシャー大学I)	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修(英国・セントラルランカシャー大学II)	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		海外短期語学研修(フィリピン・アテネオマニラ大学)	1・2・3・4 後		2							兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
社会・経済	現代国際政治と日本	未開講 <del>2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	現代社会の諸問題	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	Education of the World in Comparative Perspective	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	日本国憲法	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	子どものこころの育ち	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1		
	日本のマネジメント	1・2・3・4 前		2							兼 兼 1		
	会社組織のしくみ	1・2・3 前		2							兼 兼 1		
	会社法入門	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)	
	企業会計の基礎	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	企業の価格戦略と消費者の行動	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 兼 1	隔年開講のため(29)	
	企業ファイナンス入門	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	金融とわたしたちの生活	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 兼 1	隔年開講のため(29)	
	グローバル経済入門	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	経営学の基礎	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	経済学で物事をみる	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	経済学を学ぶ	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	経済統計を読む	1・2・3・4 前		2							兼 兼 1		
	経済と倫理	1・2・3・4 後		2							兼 兼 1		
	資本市場論	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	消費者と企業	1・2 後		2							兼 兼 1		
	食と農の地理学	1・2・3・4 前		2							兼 兼 1		
	日本経済入門	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
	人間・労働と技術の現代史	未開講 <del>1・2・3・4 前</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
知的財産入門	1・2・3・4 後		1							兼 1	科目内容の見直しに伴う、単位数の変更(29)		
経済発展と貧困削減	未開講 <del>1・2・3・4 後</del>		2							兼 1	隔年開講のため(29)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	折	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	社会・経済	社会調査の基礎	未開講									兼 1	隔年開講のため(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29) 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
		知的財産論	2前	2								兼 1	
		日常生活の法律	1・2・3・4前	2								兼 1	
		社会科学方法論入門	1・2・3・4前	2								兼 1	
		会計と社会	2・3・4前	2								兼 1	
		革新的企業経営	1・2・3・4前	2								兼 1	
		企業経営と会計	1・2・3・4後	2								兼 1	
		道路施策概論	1・2・3・4後	2								兼 1	
	自然・科学	化学史	1・2・3・4後		2		1						
		海流とその研究	1・2・3・4後		2			1					
		環境と生物	未開講		2				1				隔年開講のため(29)
		幾何学	1・2・3・4後		2			1					
		ゲーム理論と社会	未開講		2							兼 1	隔年開講のため(29)
		現代天文学と生命	未開講		2		1						隔年開講のため(29)
		栽培学習論	未開講		2							兼 2	隔年開講のため(29)
数学と文化		1・2・3・4前		2							兼 1	隔年開講のため(29)	
数学入門		未開講		2				1					
生命観の変遷		1・2・3・4前		2							兼 1		
地生態学		1・2・3・4後		2							兼 1		
微分法と数学		1・2・3・4前		2							兼 1		
ファジィの数理		1・2・3・4前		2			1						
物理学への招待		1・2・3・4後		2			2		1				
身近な化学		1・2・3・4後		2			1						
身近な物理学		未開講		2							兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)	
エネルギー科学		1・2・3・4前		2							兼 3		
エレクトロニクスの世界 I		1・2・3・4前		2							兼 3		
エレクトロニクスの世界 II		1・2・3・4後		2							兼 2		
機械技術概論		1・2・3・4前		2							兼 1		
機械と文明		1・2・3・4後		2							兼 1		
機械の世界		1・2・3・4後		2							兼 1		
くらしの化学		1・2・3・4後		2			2					教養教育課程の見直しに伴う科目廃止(29)	
タルマと社会の関わり	未開講		2							兼 1			
建築構造工学	1・2・3・4前		2							兼 3			
食品材料概説	未開講		2							兼 1	隔年開講のため(29)		
植物細胞工学	2後		2					1			教育内容充実のため、配当年次を追加(29)		
情報科学の世界	1・2・3・4後		2			3	1	2	2		主題区分の見直しに伴い、「自然・科学」から「文化・国際」へ主題異動(29)		
初等教育のためのものづくり	未開講		2							兼 3	隔年開講のため(29)		
数理の世界	未開講		2			1							
電気の世界 I	1・2・3・4前		2							兼 1			
電気の世界 II	1・2・3・4後		2							兼 1			
情報セキュリティ基礎	1前・後		2			1	1	1	1		兼 4		
イノベーション科学技術論	2前		2								兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然・科学	環境の化学 環境の化学入門	1-2-3-4前		2		2					主題区分見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動及び名称の見直し(29)
		自然災害と防災の科学	1-2-3-4前		2					兼 5	主題区分見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動(29)	
		進化と多様性の生物学	1-2-3-4前		2					兼 1	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
		建築入門	1-2-3-4後		2					兼 9	教育内容の充実のため、科目を追加(29)	
福祉・地域	子育て支援の地理学	1-2-3-4前		2					兼 1			
	地域における仕事と社会	1-2-3-4後		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	家族と法	1-2-3-4後		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	地域の住まい論	1-2-3-4前		2					兼 1	主題区分の見直しに伴い「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動(29)		
	自然災害と防災の科学	1-2-3-4前		2					兼 5			
	建築環境計画	1-2-3-4前		2					兼 6			
	カラダの見方・考え方	1-2-3-4後		2					兼 1			
	地球環境とエネルギー入門	1-2-3-4前		2					兼 2			
	社会福祉と自立思想	1-2-3-4後		2					兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)		
	障がい者福祉入門	1-2-3-4後		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	アルコール関連問題入門	1-2-3-4後		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	市民参加と現代社会	1-2-3-4後		2					兼 1	教育効果向上のため、配当学期を変更(29)		
	福祉専門職の来し方	1-2-3-4後		2					兼 1			
	福祉テクノロジー入門	1-2-3-4前		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	東南アジアの社会と教育	1-2-3-4前		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	保育学基礎論	1-2-3-4後		2					兼 1	隔年開講のため(29)		
	未開講											
	学びと生活の探求	1-2-前		2					兼 1			
	地域社会へのまなざし	1-2-3-4後		2					兼 1			
	大分の地域資源	1-2-3-4前		2					兼 1			
	交通からみた地域社会	1-2-3-4後		2					兼 1			
	大分の水I	1-2-3-4前		2					兼 1			
	大分の水II	1-2-3-4後		2					兼 1			
	環境の化学入門	1-2-3-4前		2			2			兼 2	主題区分の見直しに伴い、「福祉・地域」から「自然・科学」へ主題異動及び名称変更(29)	
	自然体験活動の理論と実践	1-2-3-4前		2						兼 1	隔年開講のため(29)	
	未開講											
	地域と情報	1-2-3-4後		2						兼 1		
	日本の環境政策	1-2-3-4後		2						兼 1	隔年開講のため(29)	
未開講												
現代社会と心理学	1-2-3-4後		2						兼 6	隔年開講のため(29)		
未開講												
人体の構造と生理	1-2-3-4前		2						兼 3	隔年開講のため(29)		
未開講												
高齢者の身体機能と疾病の特徴	1-2-3-4前		2						兼 5			
学習意欲の心理学	1-2-3-4後		2						兼 1			
インストラクショナルデザイン入門	1-2-3-4後		2						兼 1			
創造的思考法	1-2-3-4前		2						兼 1			
共生社会論	1-2-3-4前		2						兼 1			
生涯スポーツI	2-3-4前		1						兼 1			
生涯スポーツII	2-3-4前		1						兼 1			
生涯スポーツIV	2-3-4後		1						兼 1			
生涯スポーツV	2-3-4後		1						兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	福祉・地域	スポーツ文化科学（春・夏の野外活動）	1前		2							兼 1	<p>主題区分見直しに伴い、「導入・転換」から「福祉・地域」へ主題異動及び、教育内容の充実のため、担当教員追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>教育内容の充実のため、科目を追加(29)</p> <p>カリキュラム見直しのため配当年次変更(29)</p>	
		スポーツ文化科学（バレーボールの科学）	1前		2							兼 1		
		スポーツ文化科学（キャンプの理論と実践）	1前		2									兼 2
		スポーツ文化科学（スキー・スノーボードの理論と実践）	1後		2									兼 2
		スポーツ文化科学（秋・冬の野外活動）	1後		2									兼 1
		スポーツ文化科学（健康トレーニング）	1後		2									兼 1
		スポーツ文化科学（運動学習の科学）	1後		2									兼 1
		大分の人と学問	1・2・3・4後		2									兼 3
		現代における青年の心理	1・2・3・4前		2									兼 1
		子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家族支援	1・2・3・4前		2									兼 1
		社会福祉学・高齢者介護を中心に	1・2・3・4前		2									兼 1
		世界・日本・大分の農業経済論	1・2・3・4前		2									兼 1
		医療社会学	1・2・3・4前		2									兼 1
		口腔から考える保健・医療・福祉	1・2・3・4後		2									兼 1
		運動器疾患と治療・予防	1・2・3・4後		2									兼 2
		地域ガバナンスとグローバルガバナンスを考える	1・2・3・4後		2									兼 1
		ユニバーサルデザインと人にやさしい社会	1・2・3・4後		2									兼 1
	スポーツ文化科学（イギリスで生まれたスポーツ）	1・2・3・4前		2								兼 1		
	スポーツ文化科学（生涯スポーツの足がかりI）	1・2・3・4前		2								兼 1		
	スポーツ文化科学（現代スポーツの問題点を探る－バレーボールを例にして－）	1・2・3・4前		2								兼 1		
スポーツ文化科学（現代スポーツの問題点を探る－卓球を例にして－）	1・2・3・4後		2								兼 1			
スポーツ文化科学（生涯スポーツの足がかりII）	1・2・3・4後		2								兼 1			
目外国語科	英語 I	1前後	4									兼 3		
	英語 II	2前後	2									兼 3		
専門教育科目	理工学基礎教育科目	科学技術基礎	1後	2								兼 6	<p>教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)</p> <p>担当 岩下拓哉（准教授）平成28年11月教員審査済 判定 可</p>	
		力学	1前		2		2		1					
		基礎物理学	2前		2									兼 1
		基礎化学	1前		2		1							
		基礎生物学	1後		2				1					
			2前											
		基礎地学	1後→2前		2		1							
		基礎解析学 1	1前		2		1	1						兼 2
		基礎代数学 1	1前		2		2							兼 2
		基礎解析学 2	1後		2				1					兼 3
		基礎代数学 2	1後		2			1						兼 2
		基礎解析学 3	2前		2		2		1					
		基礎代数学 3	2前		2			1						兼 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	理工学展開科目												教育内容の充実のため、担当教員の追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定可 29	
	基礎理工学PBL	3前	2					16 17	11 10	3	7	兼 30	設置時からの誤りのため(29)	
	応用理工学PBL	3後	2					15 14	11	3	7	兼 29	教育内容の充実のため、担当教員の追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定可 27	
	情報科学A	1前		2					1					
	情報科学B	1後		2					1					
	情報科学B展望	1後		2					1					
	機械物理学	2前		2								兼 1		
	電磁気学1	3前		2								兼 1		
	電磁気学2	3後		2								兼 1		
	計算機科学概論	1前		2			4	1	1					
	情報論理学	1前		2			1							
	物質化学実験	3前		2			1					兼 1		
	環境化学概論	3前		2								兼 1		
	コミュニケーション実習	2後		2								兼 1		
	溶液化学	3後		2								兼 1		
	化学1	1前		2			1							
	化学2	1前		2				1						
	生物学	1後		2							1			
		2前												カリキュラム見直しのため配当年次変更(29)
	情報科学C	1→2前		2								兼 1		
	フーリエ解析	2後		2								兼 3		
									1				教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定可	
	熱物理学	1・2後		2						1			兼 1	
解析力学	2・3前		2			1								
原子と分子	1前		2			1	1							
物質の状態と変化	1後		2			1								
宇宙科学概論	2後		2			1								
								1					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定可	
波動と光	1・2後		2			1						兼 1		
図学	1後		2									兼 1		
品質管理	3後		2									兼 1		
ベクトル解析	2後		2									兼 2		
微分方程式	2前		2			1						兼 2		
複素関数	3前		2									兼 3		
								1					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定可	
物理学実験	2前		2			2			1					



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	知能情報システム科目群A	オペレーティング・システム	2前	2		1							
		計算機科学演習	2前	1		4	1	1	6				
		言語処理	3前	2								兼 1	
		ソフトウェア工学1	2後	2								兼 1	
		ソフトウェア工学2	3前	2				1					
		ソフトウェア開発演習1	2後	1						3			
		ソフトウェア開発演習2	3前	1						3			
		情報ネットワーク	2後	2			1						
		計算機システム実験	3前	2			1						
		情報セキュリティ	3前	2			1	1	1			兼 1	
		知識処理論	3前	2			1						
		知能システム実験	3後	2							1		
		情報英語	3後	2			1						
	知能情報システム科目群B	情報セキュリティ演習	3後	1							1		
		英語コミュニケーション	3前	1							1		
		知的処理演習	3後	1			1						
		技術者倫理	3後	2								兼 1	
		情報工学特別講義1	4前	2								兼 1	
		情報工学特別講義2	4前	2								兼 1	
		情報工学特別実習2A	2通	1		4	1	1	6				
		情報工学特別実習2B	2通	2		4	1	1	6				
		情報工学特別実習3A	3通	1		4	1	1	6				
		情報工学特別実習3B	3通	2		4	1	1	6				
		情報工学特別実習4A	4通	1		4	1	1	6				
		情報工学特別実習4B	4通	2		4	1	1	6				
		機械工学概論	2前	2								兼 1	
	音響工学	4前	2								兼 1		
	情報職業指導	3前	2			1							
	情報職業指導演習	3後	1			4	1	1	6				
	自然科学科目群A	自然科学概論 有機化学概論	1前	2			4	3	1				教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
			2前	2			1						教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
		環境生物学	2後	2				4					
		環境地球科学	2後	2				1					
地域資源フィールドワーク		3前	2				2						
自然科学特別講義1		2通	1								兼 1		
自然科学特別講義2		3通	1								兼 1		
外書講読		4通	2			4	3	1				教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 岩下拓哉(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可  担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可	
自然科学科目群B		機能物質化学1	2後	2			1						
		機能物質化学2	3前	2			1						教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
	分子生物学	2後	2				2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	自然科学科目群B	生物系統学	2前		2			2					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
		応用生物学	3前		2			4					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
		応用生物学実験	3後		2			3					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
		気象学	3前		2			2					教育内容の充実のため、担当教員を追加(29) 担当 北西滋(准教授) 平成29年1月教員審査済 判定 可
		量子論	3前		2		1						カリキュラム見直しのため配当年次変更(29)
		計算理学基礎	1後		2			3					
		有機構造解析	3前		2		1						
		大気海洋科学	3後		2			1					
		有機化学実験	3後		2		1						
		応用化学科目群A	応用化学入門	1通		2			7				
	分析化学		1後		2		5	6				兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	有機化学 1		1後		2			1				兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	有機化学 2		2前		2		1						専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	化学実験入門		1後		1		4	6		4		兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	化学工学		3前		2			1					専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	高分子化学		3前		2		1						専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	応用化学実験 1		3前		3		1	2		1			専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	応用化学実験 2		3前		3		1	4		1		兼 2	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	応用化学実験 3		3後		3		1	2		1		兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
	無機材料化学	3前		2		1						専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可	
論文講読演習 1	4前		1		4	6		4		兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可		
論文講読演習 2	4後		1		4	6		4		兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可		
応用化学科目群B	有機化学 3	2後		2		1							
	錯体化学	2後		2		1							
	有機機能化学	2後		2		1							
	応用化学特別講義 1	2通		1							兼 1		
	応用化学特別講義 2	3通		1							兼 1		
	電気化学	3前		2			1						
	反応有機化学	3後		2			1						
科学概論	3後		2						3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	応用化学科目群B	科学倫理	2前		2							兼 3	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可	
		触媒化学	3後		2							兼 1		
無機工業化学		3後		2			1							
有機工業化学		3後		2			1							
分子分光学		3後		2				1						
機能物質科学		3後		2							兼 1			
	情報機器操作	4前		2			4	6		3	兼 1			
	コース共通科目	基礎プログラミング	1・2前		2		1		1					専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可
基礎プログラミング演習1		1・2前		1						3				
基礎プログラミング演習2		1・2前		1						3				
統計科学A		2後		2							兼 1			
統計科学B展望		3前		2					1					
ヒューマン・インタフェース		2後		2			1							
マルチメディア処理		2後		2					1					
マルチメディア処理演習		2後		1					1					
人工知能基礎		2後		2			1							
統計科学B		3前		2					1					
データベースシステム		3前		2							兼 1			
コンピュータグラフィックス		3前		2			1							
データベース演習		3前		1						1				
統計科学C		3後		2					1					
ウェブサイエンス		3後		2			1							
音メディア処理		2・3前		2			1							
応用数学A		2後		2			1							
応用数学A展望		2後		2			1							
応用数学B		3前		2						1				
無機化学		1後		2				1						
物理化学1		2前		2				1						
物理化学2		2後		2			1							
物理化学3		2後		2				1						
		生物化学	2後		2							兼 1	専任教員として補充のため(29) 担当 信岡かおる(准教授) 平成28年11月教員審査済 判定 可	
		食品衛生化学1	3前		1							兼 1		
		食品衛生化学2	3前		1							兼 1		
	食品化学工学	3後		2				1						
	機器分析	3前		2				1						
	食品科学概論	2前		2				2			兼 1			
	生体高分子	3後		2			1				兼 1			
	遺伝子科学	3後		2							兼 1			
	化学実験	2通		2			1	1		1				
	電磁気学	2後		2					1					
	宇宙科学	3前		2			1							
	起業家育成講座	1・2・3・4前		1			1							
	科学英語表現法	3後		2							兼 2			
	インターンシップA	2・3前		1							兼 1			
	インターンシップB	2・3前		2							兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教育の制度と経営論	2後		2							兼 1	1 担当教員の見直しのため (29)
	教職論	2前		2							兼 1	
	教育課程と方法論	2後		2							兼 1	
	教育心理学	2前		2							兼 1	
	数学科授業論A	3後		2							兼 1	
	数学科授業論B	4後		2							兼 1	
	理科指導法A	2前		2							兼 1	
	理科指導法B	3前		2							兼 1	
	理科授業論A	3後		2							兼 1	
	理科授業論B	4後		2							兼 1	
	教育実習(中)	3前		2							兼 1	
	教育実習(高)	4前		2							兼 1	
	教育実習事前・事後指導	4前		1							兼 1	
	教職実践演習	4後		3							兼 1	
	教育原理	1後		2							兼 -1	
	教育方法の理論と実践	3前		2							兼 1	
	生徒指導の理論と方法	2前		2							兼 1	
	数学科指導法A	2前		2							兼 1	
	数学科指導法B	3前		2							兼 1	
	道徳の指導法	2後		2							兼 1	
	情報科指導法A	2前		2							兼 1	
	情報科指導法B	3前		2							兼 1	
	特別活動の方法と理論	2後		2							兼 -1	
	教育相談の理論と実際	3後		2							兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	395	0	402	7	437	0	444	
				[0]	[42]	[0]	[42]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	初等教育のためのICT活用	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
2	「読むこと」と自己開拓	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
3	手作り絵本の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
4	版画の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
5	中国史学緒論	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
6	中世イタリアの生活史Ⅱ	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
7	東アジア史の諸相	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
8	国際関係入門	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
9	現代国際政治と日本	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
10	現代社会の諸問題	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
11	Education of the World in Comparative Perspective	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
12	子どものこころの育ち	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
13	企業会計の基礎	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
14	企業ファイナンス入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
15	グローバル経済入門	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
16	経営学の基礎	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
17	経済学で物事をみる	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
18	経済学を学ぶ	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
19	資本市場論	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
20	日本経済入門	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
21	人間・労働と技術の現代史	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
22	経済発展と貧困削減	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
23	社会調査の基礎	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
24	環境と生物	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
25	ゲーム理論と社会	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
26	現代天文学と生命	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
27	栽培学習論	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
28	数学入門	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
29	食品材料概説	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
30	植物細胞工学	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
31	数理の世界	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
32	家族と法	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
33	地域の住まい論	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
34	アルコール関連問題入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
35	市民参加と現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
36	東南アジアの社会と教育	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
37	保育学基礎論	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
38	学びと生活の探求	2	1・2前	一般	選択	隔年開講のため
39	地域と情報	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
40	現代社会と心理学	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講のため
41	人体の構造と生理	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため
42	高齢者の身体機能と疾病の特徴	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	クルマと社会の関わり	2	1・2・3・4前	一般	選択	教養教育課程見直しに伴う科目廃止。代替措置は無し。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講又は廃止とした科目は、全て教養教育科目（自由選択科目）である。  
 未開講科目は、全て隔年開講科目であり、次年度以降の開講により履修が可能である。  
 また、教養教育課程の見直しに伴い廃止となった科目については、廃止となった科目の主題内容に関わる新たな科目を追加し、幅広く多数の科目から選択が可能である。  
 なお、学生に対しては、学部で行うガイダンスと毎年度発行する「教養教育科目ガイドブック」により、当該年度の開講科目等について周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{43}{402} = \boxed{10.69}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	151,443 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	151,443 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	91,269 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	91,269 m <sup>2</sup>			
	小 計	242,712 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	242,712 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	180,272 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	180,272 m <sup>2</sup>			
	合 計	422,984 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	422,984 m <sup>2</sup>			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		114,886 m <sup>2</sup> ( 114,886 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	114,886 m <sup>2</sup> ( 114,886 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講 義 室	64 室	169 室 173 室	362 室 363 室	20 室 (補助職員 0 人)	3 室 (補助職員 0 人)	大学全体 学部等改組に伴う改修のため(29)	
	専任教員研究室	新設学部等の名称 理工学部 創生工学科		室 数 47 45		専任教員増員のため(29)		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 教育研究環境の充実のため(29)
	理工学部 創生工学科	777,208 [202,695] 769,413 [202,161] (777,208 [202,695]) (769,413 [202,161])	11,484 [4,208] 11,536 [4,242] (11,484 [4,208]) (11,536 [4,242])	4,235 [4,235] 4,183 [4,183] (4,235 [4,235]) (4,183 [4,183])	3,244 3,059 (3,244) (3,059)	668 640 (668) (640)	( 0)	
	計	777,208 [202,695] 769,413 [202,161] (777,208 [202,695]) (769,413 [202,161])	11,484 [4,208] 11,536 [4,242] (11,484 [4,208]) (11,536 [4,242])	4,235 [4,235] 4,183 [4,183] (4,235 [4,235]) (4,183 [4,183])	3,244 3,059 (3,244) (3,059)	668 640 (668) (640)	( 0)	
(6) 図書館	面 積	閲 覧 座 席 数		取 納 可 能 冊 数		大学全体		
	7,631 m <sup>2</sup>	940 948		605,278 603,833		棚増設のため(29)		
(7) 体育館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	5,056 m <sup>2</sup>	弓道場、テニスコート、プール、陸上競技場 等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	
	共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
	学生納付金以外の維持方法の概要	－						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	135	—	540	学士（教育）	1.06	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
学校教育課程	4	—	—	—	学士（教育）	—	平成11年度	同上	平成28年度より学生募集停止
情報社会文化課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成元年度	同上	同上
人間福祉科学課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成9年度	同上	同上
経済学部						1.04			
経済学科	4	90		360	学士（経済学）		平成6年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度入学定員減（△40人）
経営システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員減（△50人）
地域システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員増（35人）
社会イノベーション学科	4	40		160	学士（経済学）		平成29年度	同上	
各学科共通			3年次 10	20					
医学部									
医学科	6	100	2年次 10	650	学士（医学）	1.00	昭和51年度	大分県由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地	
看護学科	4	60	3年次 6	252	学士（看護学）	1.01	平成6年度	同上	
理工学部									
創生工学科	4	235	3年次 7	954	学士（工学）	1.01	平成29年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
共創理工学科	4	150	3年次 3	606	学士（理工学）	1.05	平成29年度	同上	
工学部									
機械・エネルギーシステム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
知能情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
応用化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成4年度	同上	同上
福祉環境工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	同上	同上
各学科共通			3年次 —	—					
福祉健康科学部									
福祉健康科学科	4	100	—	400	学士（福祉健康科学）	1.04	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
【大学院】									
教育学研究科 （修士課程）									
学校教育専攻	2	21	—	42	修士（教育学）	0.92	平成4年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
教科教育専攻 （専門職学位課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成4年度	同上	平成28年度より学生募集停止
教職開発専攻	2	10	—	20	教職修士（専門職）	0.95	平成28年度	同上	

大学の名称	大分大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地
経済学研究科 (博士前期課程)								
経済社会政策専攻	2	8	—	16	修士(経済学)	0.74	平成11年度	大分県大分市大字旦野原700番地
地域経営政策専攻	2	12	—	24	修士(経営学)	0.45	平成11年度	同上
(博士後期課程)								
地域経営専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	1.11	平成19年度	同上
医学系研究科 (修士課程)								
医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.66	平成15年度	大分県由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地
看護学専攻	2	10	—	20	修士(看護学)	0.70	平成10年度	同上
(博士課程)								
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	0.77	平成20年度	同上
工学研究科 (博士前期課程)								
工学専攻	2	135	—	270	修士(工学)	1.10	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地
機械・エネルギーシステム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上
知能情報システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上
応用化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上
建設工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上
福祉環境工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成13年度	同上
(博士後期課程)								
工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上
環境工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上
福祉社会科学研究科 (修士課程)								
福祉社会科学専攻	2	12	—	24	修士(福祉社会学)	0.74	平成14年度	大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 共創理工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	豊田 昌宏	平成29年4月	基礎理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 応用化学実験 1 無機材料化学 論文講読演習 1 論文講読演習 2 無機工業化学 情報機器操作						
専	教授	石川 雄一	平成29年4月	環境の化学入門※  基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 有機化学 2 化学実験入門 応用化学実験 2 論文講読演習 1 論文講読演習 2 有機化学 3 情報機器操作 生体高分子	専	教授	石川 雄一	平成29年4月	環境の化学※  基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 有機化学 2 化学実験入門 応用化学実験 2 論文講読演習 1 論文講読演習 2 有機化学 3 情報機器操作 生体高分子	科目の名称見直しのため(29)
専	教授	氏家 誠司	平成29年4月	くらしの化学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 高分子化学 応用化学実験 3 論文講読演習 1 論文講読演習 2 有機機能化学 有機工業化学 情報機器操作 起業家育成講座						
専	教授	大賀 恭	平成29年4月	環境の化学入門※  化学 1 原子と分子 物質の状態と変化 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 論文講読演習 1 論文講読演習 2 情報機器操作 物理化学 2 化学実験	専	教授	大賀 恭	平成29年4月	環境の化学※  化学 1 原子と分子 物質の状態と変化 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 論文講読演習 1 論文講読演習 2 情報機器操作 物理化学 2 化学実験	科目の名称見直しのため(29)
専	教授	甲斐 徳久	平成29年4月	化学史 くらしの化学※ 卒業研究 応用化学入門 錯体化学						
専	教授	家本 宣幸	平成29年4月	幾何学【隔年】 基礎解析学 3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 数理学概論 幾何学 A 幾何学 A 展望 数理学輪講 A 数理学輪講 B 幾何学 B						
専	教授	芝原 雅彦	平成29年4月	基礎理工学入門 身近な化学【隔年】 基礎化学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物質化学実験 卒業研究 自然科学概論 有機化学概論 外書講読 機能物質化学 1 機能物質化学 2 有機構造解析 有機化学実験						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	末谷 大道	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 力学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 解析力学※ 波動と光 物理学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読 計算理学基礎						
専	教授	高見 利也	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 卒業研究 計算機アーキテクチャ1 計算機アーキテクチャ2 計算機科学演習 知識処理論 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 人工知能基礎						
専	教授	田中 康彦	平成29年4月	数理の世界【隔年】 情報セキュリティ基礎 基礎代数学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 代数学A展望 数理科学輪講A 数理科学輪講B キャリア開発指導 代数学B 代数学C						
専	教授	寺井 伸浩	平成29年4月	基礎代数学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 代数学2 代数学2展望 数理科学輪講A 数理科学輪講B 数理科学英語 幾何学C 情報セキュリティ※						
専	教授	中島 誠	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 基礎理工学入門 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 卒業研究 アルゴリズム論 情報構造論 計算機科学演習 知的処理演習 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 基礎プログラミング						
専	教授	仲野 誠	平成29年4月	基礎理工学入門 現代天文学と生命【隔年】 基礎地学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 宇宙科学概論 地学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読 宇宙科学						
専	教授	長屋 智之	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 力学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 物理学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読 量子論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	西野 浩明	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 卒業研究 オペレーティング・システム 計算機科学演習 情報ネットワーク 計算機システム実験 情報英語 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 コンピュータグラフィックス						
専	教授	福田 亮治	平成29年4月	ファジィの数理【隔年】 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 微分方程式 卒業研究 解析学1 解析学1展望 解析学4 解析学4展望 数理科学輪講A 数理科学輪講B						
専	教授	古家 賢一	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 情報論理学 卒業研究 計算機科学演習 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導 情報職業指導演習 ヒューマン・インタフェース ウェブサイエンス 音メディア処理						
専	教授	吉川 周二	平成29年4月	基礎解析学1 基礎解析学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 数理科学輪講A 数理科学輪講B 解析学C 応用数学A 応用数学A展望						
専	准教授	泉 好弘	平成29年4月	基礎理工学入門 植物細胞工学【隔年】 基礎生物学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 生物学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読 生物系統学 応用生物学 応用生物学実験 食品科学概論※						
専	准教授	井上 高教	平成29年4月	卒業研究 応用化学入門 分析化学 化学実験入門 応用化学実験1 論文講読演習1 論文講読演習2 情報機器操作 機器分析						
専	准教授	大隈 ひとみ	平成29年4月	数学入門【隔年】 基礎代数学2 基礎代数学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 情報科学A 情報科学B 情報科学B展望 卒業研究 数理科学輪講A 数理科学輪講B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	大竹 哲史	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 卒業研究 デジタル回路 計算機科学演習 ソフトウェア工学2 情報セキュリティ※ 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習						
専	准教授	津村 朋樹	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 応用化学実験1 論文講読演習1 論文講読演習2 電気化学 情報機器操作 無機化学						
専	准教授	永岡 勝俊	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 応用化学実験2 論文講読演習1 論文講読演習2 情報機器操作 物理化学1 物理化学3						
専	准教授	永野 昌博	平成29年4月	基礎理工学入門 環境と生物【隔年】 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 生物多様性学 生物学実験 卒業研究 自然科学概論 環境生物学 地域資源フィールドワーク※ 外書講読 分子生物学 応用生物学 応用生物学実験 食品科学概論※						
専	准教授	西垣 肇	平成29年4月	基礎理工学入門 海流とその研究【隔年】 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 地学実験 卒業研究 自然科学概論 環境地球科学 地域資源フィールドワーク※ 外書講読 気象学 大気海洋科学						
専	准教授	原田 拓典	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 原子と分子 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 論文講読演習1 論文講読演習2 分子分光学 情報機器操作 化学実験						
専	准教授	平田 誠	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 化学工学 応用化学実験3 論文講読演習1 論文講読演習2 情報機器操作 食品化学工学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	守山 雅也	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 化学2 卒業研究 応用化学入門 化学実験入門 応用化学実験3 論文講読演習1 論文講読演習2 反応有機化学 情報機器操作						
専	准教授	渡邊 紘	平成29年4月	基礎解析学1 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 解析学2 解析学2展望 解析学A 解析学A展望 数理科学輪講A 数理科学輪講B						
専	講師	行天 啓二	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学概論※ 卒業研究 計算機科学演習 情報セキュリティ※ 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 基礎プログラミング マルチメディア処理 マルチメディア処理演習						
専	講師	近藤 隆司	平成29年4月	基礎理工学入門 物理学への招待【隔年】※ 情報セキュリティ基礎 力学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 熱物理学 物理学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読 電磁気学						
専	講師	原 恭彦	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎解析学2 基礎解析学3 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 数理科学輪講A 数理科学輪講B 統計科学B展望 統計科学B 統計科学C						
専	助教	池部 実	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習1 情報セキュリティ演習 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 基礎プログラミング演習1 基礎プログラミング演習2						
専	助教	大城 英裕	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 応用プログラミング演習1 応用プログラミング演習2 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習2 英語コミュニケーション 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	助教	小畑 経史	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 数理科学輪講A 数理科学輪講B 応用数学C 応用数学B							
専	助教	賀川 経夫	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 応用プログラミング演習1 応用プログラミング演習2 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習2 知能システム実験 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習							
専	助教	衣本 太郎	平成29年4月	化学実験入門 応用化学実験1 論文講読演習1 論文講読演習2 科学概論※ 情報機器操作							
専	助教	佐藤 慶三	平成29年4月	コンピュータ科学入門※ 情報科学の世界※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 応用プログラミング演習1 応用プログラミング演習2 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習2 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習							
専	助教	鈴木 絢子	平成29年4月	生物学 化学実験入門 応用化学実験2 論文講読演習1 論文講読演習2							
専	助教	永田 亮一	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習1 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 基礎プログラミング演習1 基礎プログラミング演習2							
専	助教	西島 恵介	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 計算機科学演習 ソフトウェア開発演習1 情報工学特別実習2A 情報工学特別実習2B 情報工学特別実習3A 情報工学特別実習3B 情報工学特別実習4A 情報工学特別実習4B 情報職業指導演習 基礎プログラミング演習1 基礎プログラミング演習2 データベース演習							
専	助教	平尾 翔太郎	平成29年4月	化学実験入門 論文講読演習1 論文講読演習2 科学概論※ 情報機器操作 化学実験							
専	助教	吉見 剛司	平成29年4月	化学実験入門 応用化学実験3 論文講読演習1 論文講読演習2 科学概論※ 情報機器操作							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	秋田 昌憲	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 音響工学						
兼担	教授	朝井 政治	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼担	教授	穴井 孝信	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※						
兼担	教授	池内 宣夫	平成29年4月	応用ドイツ語Ⅱ 教養ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅱ						
兼担	教授	石井 まこと	平成29年4月	地域における仕事と社会【隔年】						
兼担	教授	市原 宏一	平成29年4月	プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～ 大分の水Ⅰ 大分の水Ⅱ						
兼担	教授	市原 靖士	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 ものづくり入門【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】 自然災害と防災の科学※						
兼担	教授	今戸 啓二	平成29年4月	応用理工学PBL						
兼担	教授	鶴崎 清貴	平成29年4月	企業ファイナンス入門【隔年】						
兼担	教授	大崎 美泉	平成29年4月	企業会計の基礎【隔年】						
兼担	教授	大杉 至	平成29年4月	現代社会の諸問題【隔年】						
兼担	教授	大鶴 徹	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL	兼担	教授	大鶴 徹	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	教授	小笠原 悟	平成29年4月	金融とわたしたちの生活【隔年】						
兼担	教授	小川 幸吉	平成29年4月	応用理工学PBL						
兼担	教授	小田 和広	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	教授	越智 義道	平成29年4月	情報科学C 数理科学輪講A 数理科学輪講B 統計科学A						
兼担	教授	片岡 晶志	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※	兼担	教授	片岡 晶志	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※ 運動器疾患と治療・予防	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	助教	加藤 義隆	平成29年4月	機械工学概論						
兼担	教授	金澤 誠司	平成29年4月	イノベーション科学技術論 基礎理工学PBL 応用理工学PBL インターンシップA インターンシップB						
兼担	教授	河上 敬介	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼担	教授	川崎道広	平成29年4月	数学科授業論A 数学科授業論B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	菊池 健児	平成29年4月	建築構造工学※	兼担	教授	菊池 健児	平成29年4月	建築入門 建築構造工学※	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	教授	城戸 照子	平成29年4月	中世イタリアの生活史Ⅰ【隔年】 中世イタリアの生活史Ⅱ【隔年】						
兼担	教授	衣笠 一茂	平成29年4月	社会福祉と自立思想						
兼担	教授	金 珍奎	平成29年4月	資本市場論【隔年】						
兼担	教授	工藤 孝人	平成29年4月	エレクトロニクスの世界Ⅰ※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	工藤 欣邦	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※						
兼担	教授	久間 清喜	平成29年4月	版画の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	栗栖 由美子	平成29年4月	バロック音楽の世界【隔年】						
兼担	教授	黒川 勲	平成29年4月	西洋思想の源流【隔年】						
兼担	教授	高山 英男	平成29年4月	国際関係入門【隔年】						
兼担	教授	古賀 正文	平成29年4月	エレクトロニクスの世界Ⅰ※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	古城 和敬	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※ 教育心理学						
兼担	教授	兒玉 雅明	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼担	教授	後藤 真宏	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	教授	財津 庸子	平成29年4月	南アジアの生活文化を知ろう【隔年】						
兼担	教授	佐々木 博康	平成29年4月	応用ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅰ 教養ドイツ語Ⅱ						
兼担	教授	下田 憲雄	平成29年4月	ゲーム理論と社会【隔年】						
兼担	教授	鈴木 義弘	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL	兼担	教授	鈴木 義弘	平成29年4月	建築入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	教授	住岡 敏弘	平成29年4月	教育の制度と経営論						
兼担	教授	高見 博之	平成29年4月	経済学を学ぶ【隔年】						
兼担	教授	武内 珠美	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	教授	田中 修二	平成29年4月	大分美術史概論【隔年】						
兼担	教授	田中 星治	平成29年4月	器楽の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	田上 公俊	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	教授	田畑 千秋	平成29年4月	古典文学講読【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	土居 晴洋	平成29年4月	自然災害と防災の科学※						
兼担	教授	徳丸 治	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼担	教授	戸高 孝	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	富畑 賢司	平成29年4月	知的財産入門 知的財産論						
兼担	教授	西村 善博	平成29年4月	経済統計を読む【隔年】						
兼担	教授	濱川 洋充	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	教授	濱本 誠	平成29年4月	エネルギー科学※ 基礎理工学PBL 電磁気学1 電磁気学2						
兼担	教授	一二三 恵美	平成29年4月	応用化学実験3 遺伝子科学						
兼担	教授	平田 利文	平成29年4月	東南アジアの社会と教育【隔年】						
兼担	教授	藤井 弘也	平成29年4月	身近な物理学【隔年】 地域と情報【隔年】 基礎物理学 コミュニケーション実習						
兼担	教授	藤原 耕作	平成29年4月	国文学作品研究【隔年】						
兼担	教授	藤原 直樹	平成29年4月	人間・労働と技術の現代史【隔年】						
兼担	教授	前田 寛	平成29年4月	スポーツと生活 生涯スポーツⅡ 生涯スポーツⅤ スポーツ文化科学(春・夏の野外活動) スポーツ文化科学(キャンプの理論と実践) スポーツ文化科学(スキー・スノーボードの理論と実践) スポーツ文化科学(秋・冬の野外活動)						
兼担	教授	牧野 治敏	平成29年4月	人類の知的遺産と向き合う 生命観の変遷 カラダの見方・考え方 自然体験活動の理論と実践	兼担	教授	牧野 治敏	平成29年4月	人類の知的遺産と向き合う 生命観の変遷 カラダの見方・考え方 自然体験活動の理論と実践	
									大分の人と学問	教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)
兼担	教授	益子 洋治	平成29年4月	エレクトロニクスの世界Ⅰ※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	教授	松浦 恵子	平成29年4月	男女共同参画入門						
兼担	教授	松尾 孝美	平成29年4月	基礎理工学入門 情報セキュリティ基礎 基礎理工学PBL 解析力学※						
兼担	教授	松隈 久昭	平成29年4月	消費者と企業【隔年】						
兼担	教授	松田 聡	平成29年4月	バロック音楽の世界【隔年】						
兼担	教授	松本 正	平成29年4月	器楽の楽しみ【隔年】						
兼担	教授	真鍋 正規	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL	兼担	教授	真鍋 正規	平成29年4月	建築環境計画※ 基礎理工学PBL	建築入門 教育内容の充実のため、科目を追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	三次 徳二	平成29年4月	理科指導法A 理科指導法B 理科授業論A 理科授業論B 教職実践演習						
兼担	教授	宮下 清	平成29年4月	日本のマネジメント【隔年】						
兼担	教授	宮町 良広	平成29年4月	カタリバでキャリアを拓く						
兼担	教授	望月 聡	平成29年4月	大分の人と学問 職業とキャリア開発 分大キャンパスライフ入門 食品材料概説【隔年】 食品科学概論※						
兼担	教授	山田 英巳	平成29年4月	地球環境とエネルギー入門※						
兼担	教授	吉田 和幸	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 言語処理 ソフトウェア工学1 情報セキュリティ※						
兼担	教授	劉 孝宏	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	教授	渡邊 亘	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	准教授	相浦 洋志	平成29年4月	経済学で物事をみる【隔年】	兼担	准教授	川崎 晃夫	平成29年4月	経済学で物事をみる【隔年】	担当教員退職のため、後任として担当(29)
兼担	准教授	青野 篤	平成29年4月	日本国憲法						
兼担	准教授	青柳 かおり	平成29年4月	イギリス近代史【隔年】						
兼担	准教授	浅海 靖恵	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼担	准教授	甘利 弘樹	平成29年4月	医学史のプロムナード【隔年】 中国史学緒論【隔年】 東アジア史の諸相【隔年】						
兼担	准教授	池内 秀隆	平成29年4月	福祉テクノロジー入門 基礎理工学PBL						
兼担	准教授	岩本 光生	平成29年4月	地球環境とエネルギー入門※ 応用理工学PBL						
兼担	准教授	上見 憲弘	平成29年4月	科学技術基礎 応用理工学PBL						
兼担	准教授	宇野 真人	平成29年4月	企業の価格戦略と消費者の行動【隔年】						
兼担	准教授	大井 尚司	平成29年4月	交通からみた地域社会【隔年】						
兼担	准教授	大上 和敏	平成29年4月	物質化学実験 環境化学概論 溶液化学						
兼担	准教授	大下 晴美	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※	兼担	准教授	大下 晴美	平成29年4月	男女共同参画入門 国際健康コンシェルジュ養成講座※	教育内容充実のため、担当教員を追加(29)
兼担	准教授	大谷 俊浩	平成29年4月	建築構造工学※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼担	准教授	大谷 俊浩	平成29年4月	建築入門 建築構造工学※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	准教授	大野 歩	平成29年4月	保育学基礎論【隔年】						
兼担	准教授	大野 貴雄	平成29年4月	微分法と数学【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	大呂 興平	平成29年4月	食と農の地理学【隔年】						
兼担	准教授	岡内 優明	平成29年4月	スポーツと生活 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅣ スポーツ文化科学(バレーボールの科学) スポーツ文化科学(キャンプの理論と実践) スポーツ文化科学(スキー・スノーボードの理論と実践) スポーツ文化科学(健康トレーニング) 応用理工学PBL						
兼担	准教授	岡田 正彦	平成29年4月	生涯学習論入門 大学開放論-社会人の学びと大学生の学び- 学習ボランティア入門 中小企業の魅力の発見と発信～インターンシップセミナー～ プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～ 教育原理	兼担	教授	岡田 正彦	平成29年4月	生涯学習論入門 大学開放論-社会人の学びと大学生の学び- 学習ボランティア入門 中小企業の魅力の発見と発信～インターンシップセミナー～ プロジェクト型学習入門Ⅰ～インターンシップセミナーB～ プロジェクト型学習入門Ⅱ～インターンシップセミナーB～	職位変更のため(29)
					兼担	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	教育原理	担当教員の見直しのため(29)
兼担	准教授	菊池 武士	平成29年4月	基礎理工学PBL						
兼担	准教授	木村 雄一	平成29年4月	経済発展と貧困削減【隔年】						
兼担	准教授	久木元 美琴	平成29年4月	子育て支援の地理学【隔年】						
兼担	准教授	久保田 亮	平成29年4月	文化人類学【隔年】						
兼担	准教授	栗原 央流	平成29年4月	応用理工学PBL						
兼担	准教授	高坂 拓司	平成29年4月	エネルギー科学※ 応用理工学PBL						
兼担	准教授	後藤 雄治	平成29年4月	エネルギー科学※ 基礎理工学PBL						
兼担	准教授	小林 祐司	平成29年4月	情報セキュリティ基礎 自然災害と防災の科学※ 建築環境計画※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼担	准教授	小林 祐司	平成29年4月	建築入門 情報セキュリティ基礎 自然災害と防災の科学※ 建築環境計画※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	准教授	小山 拓志	平成29年4月	地生態学【隔年】 自然災害と防災の科学※						
兼担	准教授	佐々木 朱美	平成29年4月	英語ゼミナールD 英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語表現法						
兼担	准教授	佐藤 隆	平成29年4月	経済と倫理【隔年】	兼任	講師	佐藤 隆	平成29年4月	経済と倫理【隔年】	他機関へ異動後、非常勤講師として担当のため(29)
兼担	准教授	佐藤 輝被	平成29年4月	エレクトロニクスの世界Ⅱ※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	柴田 克成	平成29年4月	基礎理工学入門 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	柴田 茂紀	平成29年4月	グローバル経済入門【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	島田 和典	平成29年4月	初等教育のためのICT活用【隔年】	兼任	准教授	島田 和典	平成29年4月	初等教育のためのICT活用【隔年】	教員の退職のため なお、当該科目は複数の教員で担当しているため支障がない(29)
				クルマと社会の関わり【隔年】					クルマと社会の関わり【隔年】	教養教育課程の見直しに伴う科目廃止(29)
				初等教育のためのものづくり【隔年】					初等教育のためのものづくり【隔年】	教員の退職のため なお、当該科目は複数の教員で担当しているため支障がない(29)
兼任	准教授	下條 美恵子	平成29年4月	海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅰ) 海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅱ) 海外短期語学研修(中国・江漢大学) 海外短期語学研修(ドイツ・ライプツィヒ大学) トビタテ留学準備英語 日本語学Ⅰ	兼任	准教授	下條 美恵子	平成29年4月	海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅰ) 海外短期語学研修(台湾・東海大学Ⅱ) 海外短期語学研修(中国・江漢大学) 海外短期語学研修(ドイツ・ライプツィヒ大学) トビタテ留学準備英語 日本語学Ⅰ	
				ミニトビタテ海外研修					教育内容の充実のため科目を追加(29)	
兼任	准教授	鄭 敬娥	平成29年4月	現代国際政治と日本【隔年】						
兼任	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	Education of the World in Comparative Perspective【隔年】 道徳の指導法	兼任	准教授	鈴木 篤	平成29年4月	Education of the World in Comparative Perspective【隔年】 道徳の指導法	
				教育原理					担当教員の見直しのため(29)	
兼任	准教授	園井 千音	平成29年4月	英語ゼミナールC 英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語表現法						
兼任	准教授	高島 拓哉	平成29年4月	地域社会へのまなざし【隔年】						
兼任	准教授	竹中 真希子	平成29年4月	教育方法の理論と実践	兼任	教授	竹中 真希子	平成29年4月	教育方法の理論と実践	職位変更のため(29)
兼任	准教授	田中 圭	平成29年4月	基礎理工学入門 建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼任	准教授	田中 圭	平成29年4月	建築入門	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
									基礎理工学入門 建築構造工学※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	
兼任	准教授	田中 洋	平成29年4月	子どものこころの育ち【隔年】						
兼任	准教授	田端 真弓	平成29年4月	スポーツ文化科学(運動学習の科学)						
兼任	准教授	樋田 雄二	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼任	准教授	都甲 由紀子	平成29年4月	南アジアの生活文化を知ろう【隔年】						
兼任	准教授	富来 礼次	平成29年4月	建築環境計画※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼任	准教授	富来 礼次	平成29年4月	建築入門	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
									建築環境計画※ 科学技術基礎 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	
兼任	准教授	豊島 慎一郎	平成29年4月	市民参加と現代社会【隔年】						
兼任	准教授	中江 貴志	平成29年4月	基礎理工学入門 応用理工学PBL						
兼任	准教授	中川 裕之	平成29年4月	数学と文化【隔年】 数学科指導法A 数学科指導法B						
兼任	准教授	仲本 大輔	平成29年4月	経営学の基礎【隔年】						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	南里 敬三	平成29年4月	ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅰ ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ	兼担	准教授	南里 敬三	平成29年4月	ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅰ ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ	教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼担	准教授	西口 宏泰	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 応用化学実験2 触媒化学						
兼担	准教授	信岡(北岡) かおる	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 有機化学1 化学実験入門 応用化学実験2 論文講読演習1 論文講読演習2 情報機器操作 生物化学 食品衛生化学1 食品衛生化学2	専	准教授	信岡(北岡) かおる	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 卒業研究 応用化学入門 有機化学1 化学実験入門 応用化学実験2 論文講読演習1 論文講読演習2 情報機器操作 生物化学 食品衛生化学1 食品衛生化学2	専任教員として補充のため(29) 平成28年11月 AC教員審査済(29)
兼担	准教授	橋本 淳	平成29年4月	基礎理工学入門 応用理工学PBL						
兼担	准教授	橋本 美枝子	平成29年4月	アルコール関連問題入門【隔年】						
兼担	准教授	長谷川 祐介	平成29年4月	社会調査の基礎【隔年】 生徒指導の理論と方法 特別活動の方法と理論	兼担	准教授	長谷川 祐介	平成29年4月	社会調査の基礎【隔年】 生徒指導の理論と方法	
					兼任	講師	長須 正明	平成29年4月	特別活動の方法と理論	担当教員の見直しのため(29)
兼担	准教授	廣瀬 剛	平成29年4月	手作り絵本の楽しみ【隔年】						
兼担	准教授	福永 道彦	平成29年4月	機械技術概論 科学技術基礎 応用理工学PBL						
兼担	准教授	藤井 康子	平成29年4月	水彩画の魅力【隔年】						
兼担	准教授	藤村 賢訓	平成29年4月	家族と法【隔年】						
兼担	准教授	包 聯群	平成29年4月	国際健康コンシェルジュ養成講座※ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ						
兼担	准教授	牧 真理子	平成29年4月	会社法入門【隔年】						
兼担	准教授	松岡 菜穂子	平成29年4月	地域の住まい論【隔年】 自然災害と防災の科学※						
兼担	准教授	溝口 剛	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼担	准教授	御手洗 靖	平成29年4月	英語ゼミナールE:英語運用力養成訓練Ⅰ 英語ゼミナールF:英語運用力養成訓練Ⅱ						
兼担	准教授	緑川 洋一	平成29年4月	基礎理工学入門 基礎理工学PBL 応用理工学PBL						
兼担	准教授	村山 悠	平成29年4月	日本経済入門【隔年】						
兼担	准教授	本谷 るり	平成29年4月	会社組織のしくみ【隔年】						
兼担	准教授	八木 直樹	平成29年4月	前近代日本の国家と社会【隔年】 共生社会論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	渡邊 和志	平成29年4月	教育実習(中) 教育実習(高) 教育実習事前・事後指導						
兼任	准教授	鈴木 雄清	平成29年4月	大分の地域資源 学習意欲の心理学 インストラクショナルデザイン入門 創造的思考法	兼任	准教授	鈴木 雄清	平成29年4月	大分の地域資源 学習意欲の心理学 インストラクショナルデザイン入門 創造的思考法	大分の人と学問 教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)
兼任	講師	池永 恵美	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼任	講師	岩野 卓	平成29年4月	現代社会と心理学【隔年】※						
兼任	講師	金森 由美	平成29年4月	大分事情 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学Ⅰ) 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学Ⅱ) 海外短期語学研修(韓国・培材大学校) 海外短期語学研修(韓国・釜山大学校) 日本語文法分析  表現技術(口頭発表)	兼任	講師	金森 由美	平成29年4月	大分事情 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学Ⅰ) 海外短期語学研修(韓国・ソウル女子大学Ⅱ) 海外短期語学研修(韓国・培材大学校) 海外短期語学研修(韓国・釜山大学校) 日本語文法分析	表現技術 科目名称見直しのため(29) 狂言で大分を学ぶ 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼任	講師	工藤 修一	平成29年4月	福祉専門職の来し方【隔年】						
兼任	講師	清水 良彦	平成29年4月	教職論 教育課程と方法論						
兼任	講師	紀 瑞成	平成29年4月	人体の構造と生理【隔年】※						
兼任	講師	永田 誠	平成29年4月	学びと生活の探求【隔年】						
兼任	講師	中原 久志	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】 情報科指導法A 情報科指導法B	兼任	講師	中原 久志	平成29年4月	木材加工の技術【隔年】 初等教育のためのICT活用【隔年】 栽培学習論【隔年】 初等教育のためのものづくり【隔年】 情報科指導法A 情報科指導法B	ものづくり入門 教育内容の充実のため、担当教員を追加(29)
兼任	講師	花坂 歩	平成29年4月	「読むこと」と自己開拓【隔年】						
兼任	講師	HARRAN THOMAS JAMES	平成29年4月	英語ゼミナールB 英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	廣野 俊輔	平成29年4月	障がい者福祉入門【隔年】						
兼任	助教	田中 健一郎	平成29年4月	高齢者の身体機能と疾病の特徴【隔年】※						
兼任	助教	姫野 由香	平成29年4月	基礎理工学入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	兼任	助教	姫野 由香	平成29年4月	基礎理工学入門 建築環境計画※ 基礎理工学PBL 応用理工学PBL	建築入門 教育内容の充実のため、科目を追加(29)
兼任	助教	山本 隆栄	平成29年4月	機械物理学						
兼任	講師	伊藤 秀昭	平成29年4月	情報工学特別講義2						
兼任	講師	大久保 利一	平成29年4月	電気の世界Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	大久保 渡	平成29年4月	日本文化論						
兼任	講師	岡 茂八郎	平成29年4月	電気の世界 I						
兼任	講師	沖野 隆久	平成29年4月	基礎解析学 1 基礎解析学 2 フーリエ解析 ベクトル解析 微分方程式 複素関数						
兼任	講師	折原 宏	平成29年4月	自然科学特別講義 1						
兼任	講師	城井 堅	平成29年4月	日本の環境政策						
兼任	講師	木田 雅成	平成29年4月	数理学特別講義A						
兼任	講師	木下 和久	平成29年4月	機械と文明 機械の世界						
兼任	講師	栗原 清二	平成29年4月	応用化学特別講義 2 機能物質科学						
兼任	講師	高阪 史明	平成29年4月	数理学特別講義B						
兼任	講師	小林 和之	平成29年4月	技術者倫理						
兼任	講師	小柳 嗣雄	平成29年4月	科学倫理						
兼任	講師	佐藤 静	平成29年4月	フーリエ解析 複素関数 解析学 3 解析学 3 展望 解析学 B						
兼任	講師	末松 正典	平成29年4月	科学倫理						
兼任	講師	高橋 淳一郎	平成29年4月	教育相談の理論と実際						
兼任	講師	武口 博文	平成29年4月	基礎代数学 1 基礎代数学 2 基礎代数学 3 確率統計						
兼任	講師	竹之内 和樹	平成29年4月	図学						
兼任	講師	竹本 義夫	平成29年4月	基礎解析学 1 基礎解析学 2 フーリエ解析 ベクトル解析 微分方程式 複素関数						
兼任	講師	谷 文都	平成29年4月	自然科学特別講義 2						
兼任	講師	通阪 栄一	平成29年4月	応用化学特別講義 1						
兼任	講師	鍋島 隆	平成29年4月	エレクトロニクスの世界 II ※						
兼任	講師	西井 康浩	平成29年4月	科学倫理						
兼任	講師	馬場 清	平成29年4月	基礎代数学 1 基礎解析学 2 基礎代数学 2 応用理工学PBL 確率統計 代数学 1 代数学 1 展望 代数学 A						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	黄 昞峻	平成29年4月	教養ハンゲルⅠ 教養ハンゲルⅡ						
兼任	講師	二村 祥一	平成29年4月	データベースシステム						
兼任	講師	溝部 敏勝	平成29年4月	品質管理						
兼任	講師	守屋 宣	平成29年4月	情報工学特別講義 1						
兼任	講師	吉岡 孝	平成29年4月	情報処理入門						
					専	准教授	岩下 拓哉	平成29年4月	基礎理工学入門 力学 基礎理工学PBL 応用理工学PBL 熱物理学 波動と光 物理学実験 卒業研究 自然科学概論 外書講読	教育内容の充実のため担当教員を追加(29) 平成28年11月 AC教員審査済(29)
					専	准教授	北西 滋	平成29年4月	基礎理工学PBL 応用理工学PBL 生物多様性学 生物学実験 卒業研究 環境生物学 外書講読 分子生物学 生物系統学 応用生物学 応用生物学実験	教育内容の充実のため担当教員を追加(29) 平成28年11月 AC教員審査済(29)
					兼任	教授	相澤 仁	平成29年4月	子どもにとっての福祉とは：社会的養護と家族支援	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	隅田 好美	平成29年4月	口腔から考える保健・医療・福祉	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	Day Stephen Robert	平成29年4月	地域ガバナンスとグローバルガバナンスを考える	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	教授	渡邊 博子	平成29年4月	ユニバーサルデザインと人 にやさしい社会	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	加藤 典生	平成29年4月	企業経営と会計	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	金子 創	平成29年4月	社会科学方法論入門	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	河野 伸子	平成29年4月	現代における青年の心理	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	清水 慶彦	平成29年4月	「現代音楽」とはなにか	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	准教授	中村 美保	平成29年4月	会計と社会	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	松岡 輝美	平成29年4月	革新的企業経営	教育内容の充実のため(29)
					兼任	准教授	山浦 陽一	平成29年4月	世界・日本・大分の農業経済論	教育内容の充実のため科目を追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼担	講師	池田 八果穂	平成29年4月	進化と多様性の生物学	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	講師	三好 登	平成29年4月	大学と社会	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	雨宮 洋子	平成29年4月	社会福祉学・高齢者介護を中心に	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	岩崎 瑞枝	平成29年4月	医療社会学	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	宇都宮 妙	平成29年4月	日常生活の法律	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	コモン ティエリ	平成29年4月	教養フランス語 I 教養フランス語 II	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	佐々木 美江	平成29年4月	ビジネスジャパニーズ演習 3 ビジネスジャパニーズ演習 4	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	佐藤 裕哲	平成29年4月	コミュニケーション入門 I	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	島田 義生	平成29年4月	スポーツ文化科学 (イギリスで生まれたスポーツ) スポーツ文化科学 (生涯スポーツの足がかり I) スポーツ文化科学 (生涯スポーツの足がかり II)	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	鄧 紅	平成29年4月	教養中国語 I 教養中国語 II	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	鄧 礼容	平成29年4月	教養中国語 I 教養中国語 II	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	戸澤 興治	平成29年4月	運動器疾患と治療・予防	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	長須 正明	平成29年4月	特別活動の方法と理論	担当教員の見直しのため (29)
					兼任	講師	西本 一雄	平成29年4月	スポーツ文化科学 (現代スポーツの問題点を探る-バレーボールを例にして-) スポーツ文化科学 (現代スポーツの問題点を探る-卓球を例にして-)	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	久田 成昭	平成29年4月	道路施策概論	教育内容の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	ブルカート クリストファー	平成29年4月	アカデミック・イングリッシュ I (リーディング&ライティング) アカデミック・イングリッシュ II (スピーキング) 留学英語 I (リスニング) 留学英語 II (リーディング) 国際理解教育: サステナビリティ 海外短期語学研修 (英国・セントラルランカシャー大学 I) 海外短期語学研修 (英国・セントラルランカシャー大学 II)	教育内容の充実のため科目を追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	劉美貞	平成29年4月	ハングルとその文化Ⅰ ハングルとその文化Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	姚宇龍	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)
					兼任	講師	李末	平成29年4月	教養中国語Ⅰ 教養中国語Ⅱ	教育内容の充実のため科目を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
18	12	3	11	44	18	15	3	11	47	18	16	3	11	48
(18)	(15)	(3)	(11)	(47)						[ 0 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 4 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年5月)	累積成績指標値を導入していることを踏まえ、学生の履修指導・学習支援の充実に努めることが望まれる。	その他意見 毎学期終了後に累積成績指標値を含む成績は学生本人だけでなく保護者へ通知する。指導教員が成績の悪い学生には個別に呼び出しを行い、履修指導を行う。そこで、累積成績指標値を如何にして上げるか、また修得できなかったか科目の履修計画についても指導を行う。(29)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学部 共創理工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>工学部で使用している建物に加えて、教育学部や教養教育棟などの既存施設の教室を効率的に共用することで、学部の教育を行うに十分な教室を確保する。</p>	<p>① 施設・設備</p> <p>学生の修学環境を改善するため、講義室を2部屋（180㎡）増やすこととした。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 理工学部教務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年度：毎月1回程度（予定） 各コース1名 計10名で構成</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育課程表の編成に関する事、学部の教務事項に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 現時点では特記事項はなし。</p> <p>b 実施方法 現時点では特記事項はなし。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 現時点では特記事項はなし。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 現時点では特記事項はなし。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施予定 有</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員へは教授会等で周知予定。学生へは要望事項への対応状況を示す方向で検討</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年度には定員150名対し、158名の第1期生を受け入れ、予定通り授業科目を開講しており、計画的に進んでいると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年7月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度までに受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年6月上旬 )